

第七十四回帝國議會
衆議院

軍馬資源保護法案外一件委員會會議錄(速記)第五回

會議

昭和十四年二月十七日(金曜日)午前十時四十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事佐藤謙之輔君 理事土田 莊助君

理事中野 寅吉君 理事大石 倫治君

森田重次郎君 松尾 三藏君

服部 英明君 鈴木憲太郎君

遠山 房吉君 小串 清一君

小笠原八十美君 池田七郎兵衛君

服部 岩吉君 永田 良吉君

陣 軍吉君 山崎 常吉君

野溝 勝君 富吉 榮二君

三木 武夫君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 侯爵木戸 幸一君

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 林 讓治君

馬政局長官 荷見 安君

馬政局事務官 伊藤莊之助君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

陸軍騎兵大佐 栗林 忠道君

農林書記官 男爵平山洋三郎君

馬政局事務官 佐々木 登君

馬政局技師 左々田伴久君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軍馬資源保護法案(政府提出)

種馬統制法案(政府提出)

競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)

○東委員長 ソレデハ開會致シマス

○服部(英)委員 議事ノ開會ニ先立ツテ緊急動議ヲ提出致シマス、ソレハ出征軍馬ニ對シ感謝決議ヲ本會議ニ於テ提案スルノ緊急動議デアリマス、其ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、馬ハ兵器ト御認メニナツテ居ル、ソレハ此ノ委員會ニ於テモ御言明ニナツタ所デ、吾々ニ於テモ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、又廣イ兵器ト云フ意味ニ於テハ、吾々人間同志モ廣イ意味ニ於テノ兵器デアラウト思ヒマスガ、惟フニ軍馬ハ物理學上ノ道具デアアル兵器ト、人間ノ中間ニ位シテ居ル所ノ生キ居ルモノデアツテ、此ノ軍

馬ガ戰場ニ於テ偉大ナル功ヲ常ニ奏シテ居ルト云フコトハ、何人モ異議ノナイ所デアリマス、又軍馬ハ戰場ニ於テ缺クベカラザル必要ノモノデアツテ、ソレガ爲ニ今回ノ如ク軍馬資源保護法案ノ提出ヲ見タルヤウナ譯カラ考ヘテ見テモ、極メテ戰場ニ於テハ軍馬ノ功勞ノ著シイモノガアルノデアリマスルカラ、此ノ戰場ニ於テ偉勳ヲ立テ、功勞ヲ立デテ居ル軍馬ニ對シ、此ノ際感謝決議ヲ衆議院ノ院議ヲ以テ爲スト云フコトハ、極メテ適當ナコトト信ジマスルカラ、左様ノ手續ヲ委員長ニ於テ御取計ヒ下サルベキコトヲ、茲ニ理由ニ附シテ提案ヲ致シマス、政府ニ於テハ御同意アルベキコトヲ御願申上ゲマス(拍手)

○森田委員 趣旨トシテハ別ニ異存ハアリマセスガ、是ハドウ云フ御相談ノ結果、サウ云フ所ニ落著イタノカ分リマセヌケレドモ、モウ少シ考ヘテ見ル餘地ハナイデセウカ、デスカラ其ノ意味ニ於テ餘リ輕ク、一ツノ群集心理デ動クヤウナ形デ行クノモ、ドウカト考ヘマスノデ、少シ考ヘル餘地ヲ與ヘテ貰ヒタイト思ヒマス

○東委員長 一寸服部君ニ私委員長トシテ申上ゲマスガ、趣旨ニ於テハ私等ハ勿論贊成デアリマスガ、此ノ委員會ハ法案三案ヲ付託サレテ居ルノデアルカラ、アナタノ御提議ヲ此處デ審議スル譯ニハ行カナイノデス、決議案ヲ出スノニハ相當ノ手續ヲ要スル、即チ議員三十名以上ノ署名ヲシテ、サウシテ議院ニ提出スベシト云フコトニナツテ居ルノダカラ、其ノ手續ヲ履ミ、又各派ノ諒解ヲ求メルト云フヤウナコトガ、手續上ノ問題ト思ヒマスカラ、此ノ點ハアナタノ御希望トシテ吾々モ十分考慮スルト云フコトヨリ、致方ナイガラウト思ヒマス

○服部(英)委員 其ノ意味ニ於テ結構デスガ、特ニ委員長ハ是ガ斡旋方ニ付テ、最善ノ努力ヲ拂ハレルヤウニ希望致シマス

○東委員長 承知シマシタ——大石君

○大石委員 昨日質問致シテ居リマス際、農林大臣ノ出席ノ下デ、農林大臣ニ對スル質問ヲモツト繼續スル積リデアリマシタガ、ツイ時間ノ都合デ大臣ノ質問ヲ繼續スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、本日ハドウ云フ御都合デアリマセウカ、農林大臣ト、

付託議案
軍馬資源保護法案(政府提出)
種馬統制法案(政府提出)
競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)

出來マスナラバ内務大臣、又陸軍大臣ノ御
繰合セガ付クナラ、尙ホ結構デアリマス
ガ……

○東委員長 交渉シテ取計ラツテ見マス

○大石委員 ソレデハ御出席ノ政府委員ニ

御尋スルコトニ致シマス、此ノ生産擴充ニ
伴フ馬ノ價格ノ問題ニ付キマシテハ、略、昨
日御尋ヲ致シタノデアリマスガ、未ダ結論

ニハ達シマセスケレドモ、餘リ諄クナツテ
他ノ質問ヲ御妨ゲスルコトヲ顧慮致シマシ
テ、大體ニ於テ切上ゲタイト思ヒマス、唯

一點、馬ノ分布調整ニ付テ、生産育成ノ關
係上、御尋シテ見タイト思ヒマス、先般馬

ノ分布調整ハ固ヨリ必要デアルト云フコトヲ
御認メニナリ、野溝君ノ質問ニ對シテ大臣ノ

御答モアツタヤウデアリマスガ、野溝君ノ質
問ノ趣旨ハ、生産計畫ニ付テ、之ヲ全國的ニ分

布調整ヲセシムルト云フ御意見デアツタト
私ハ存ズルノデアリマス、ソレニ對スル大臣ノ

御答辯モ、其ノ御意見ヲ御認メニナツテ居
ルノデアリマスガ、斯ウ云フコトニ付テ馬
政當局トシテハ、此ノ御計畫ヲ御持チニナ
ツテ居ルノデアルカドウカト云フ點デアリ
マス、長イ歴史ト申スヨリモ、實際ノ生産
ノ計畫ハ、或ル地域ヲ大體限ラレマシテ行
ハレテ居リ、又之ヲ保護シ、助長シテ行ク

コトガ、本邦内地馬産ノ生産計畫ニナツテ
居ルト思フノデアリマス、之ヲ全國的ニ分
布調整ヲ致サント致シマスルト、是レ亦容

易ナラザル計畫ヲ立テネバナラヌト思フノデ
アリマス、屢、問題トナル放牧採草地ノ問
題モ、全國ニ分布ノ調整ヲシテ、有事ノ日

ニ於ケル微發購買等ヲ容易ナラシメルコト
ガ、必要ナコトデアルト思ヒマスケレドモ、
之ヲ實現スルト云フコトハ容易デナイト思

フノデアリマス、當局ハ果シテ此ノ御考ヲ
御持チニナツテ居ルカドウカ伺ヒマス
○荷見政府委員 御話ノ馬ノ分布調整ト申

シマス、只今大石サンカラム御述ベニナ
リマシタヤウニ、生産ノ調整ト生産後ノ分
布ノ調整ト、兩方面ニ互ルト思ヒマス、生

産ノ調整ニ對シマシテハ先日モ申上ゲマシ
タヤウニ、日滿、朝鮮、臺灣、樺太等ニ各
各計畫ヲ立テテ、適地適産ノ方針ニ依ツテ、

生産ヲ調整致スコトニナツテ居リマス、之
ヲ繰返シテ申上ゲマス、分布ノ調整ニ關シ
マシテモ、只今申上ゲマシタ内地、朝鮮、

臺灣、樺太、滿洲等ニ對シマシテハ、ソレ
ゾレ必要ノ事項ハ考慮致シテ居ル次第デア
リマス、尙ホ國內ニ於キマスル生産ノ調

整問題ニ付キマシテハ、先般馬政調査會ニ
於テ決定致シマシタ地域的、役種別產馬方

針ノ定ムル所ニ依リマシテ、國防上必要ナ
ル有能馬資源ノ充實ヲ期シマスル爲ニ、四

圍ノ關係ト既往ノ實績ヲ考查致シマシテ、
適種ヲ適地ニ生産セシメマスル目的ヲ以テ、
地域的、役種の產馬方針ト云フモノガ、決

定致サレテアルノデアリマス、此ノ方針ヲ
吾々ト致シマシテハ遵守致シマシテ、生産
ノ調整ヲ圖ツテ參リタイト考ヘテ居リマス、

分布ノ調整ニ付キマシテ、之ヲ完全ニ實行
致シマス爲ニハ、多額ノ經費ヲ必要ト致ス
次第デアリマスノデ、軍馬資源保護法ニ於

キマシテハ、飼養補助金ノ交付、鍛鍊競技
ノ施行等ノ間接手段ニ依リマシテ、分布ノ
調整ヲ圖ルコトガ、現在ノ情勢ニ於テハ適

當ナリト認メテ居リマス
○大石委員 御配付ヲ受ケテ居リマス内地
馬政計畫提要ニモ、明瞭ニ地域的役種別ニ

生産區域ノ方針ヲ示シテ居ルノデアリマス、
只今ノ御説明ニ依リマシテモ、當分ト申シ
マスカ、將來ト申シマスカ、生産上カラ見

タル點ハ大體此ノ方針ヲ堅持セラレル、斯
ウ承知致シテ宜シイト思ヒマス、勿論軍事
上ノ關係カラ致シマス、馬ヲ國內全般ニ

分布調整スル必要ハ、吾々ニ於テモ認メテ
居ル、併シ生産地ヲ全國的ニ分布調整スル
コトハ、徒ニ分散主義ニ陥ルノデアリマシ

テ、却テ混雜ヲ來シテ、其ノ成果ガ容易ニ
擧ラヌト思フ、馬ハ單純ナル物ノ生産ト違

ヒマシテ、非常ニ面倒ナモノデアリマス、
色々ノ資源ガ伴ハネバナラズ、經驗技術
ガ伴ハネバナラズ、又經濟上ノ關係モ生ズ

ルノデアリマスカラ、徒ニ地域ノ限界ノ分布
ノ調整ニ囚ハレズシテ、分散主義ニ陥ルヤ
ウナコトノナイヤウニ、希望致シテ置クノ

デアリマス、生産セラレマシタ馬ハ、其ノ
生産地ニ必ズ止マルモノデアリマセヌ、
當歲若クハ二歳ニ於テ之ヲ競賣ニ附シマシ

テ、全國的ニ是ガ分散セラレマスノデ、其
ノ分散ノ分布調整ヲ圖ルト云フコトノ方ガ、
生産地ニ付テ分布調整ノ分散主義ヲ採ルヨ

リハ、却テ有效デアルト存ジマスルカラ、
此ノ點ハ當局ノ意見ヲ諒ト致シテ置ク
コトニ致シマス、次ニ馬政當局ニ御伺

シテ置キマスガ、牝馬ヲ軍用保護馬ニ
指定スル場合ハ、鍛鍊競争ニ出走ヲ認メル
ト云フ御話ガアリマシタ、其ノ牝馬ヲ軍用

保護馬ニ指定セラレル御意思ノアルコ
トハ、想像ニ難クナイノデアリマスガ、
此ノ鍛鍊法實施ノ曉ハ、ソレト同時ニサウ

云フコトヲ御實行ナサル御考デアリマスカ、
此ノ點ハ土田君ニ對スル御答辯ニ依ツテ、
其ノ御意思ノアルコトハ明瞭デアリマスケ

レドモ、其ノ時期或ハ年齢、或ハ牡馬、牝馬トノ振合デアルトカ云フヤウナコトハ、マダ承ツテ居リマセヌカラ之ヲ伺ツテ置キタイ

○伊藤政府委員 牝馬ノ方ハ大體三歳以後ニ於テ、必要ガアリマスレバ臨時檢定シテ、軍用保護馬ニ指定ヲ致シマス

○大石委員 其ノ振合ハ……

○伊藤政府委員 牝馬ノ方ハ、大體優秀ナ蕃殖牝馬ヲ採リマシタ残リニナルト思ヒマス

○大石委員 次ニ是ハ少シ専門的ニナルノデ、技術家ニアラザル私ガ御尋スルコトハ、或ハ不適當デアルカモ知レマセヌガ、一ツノ疑問ヲ解イテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ兵務局長ノ、坪山君ニ對スル御答辯ニ依リマス、此ノ度ノ新馬政計畫ハ不變不動ノモノデアルト云フ御答辯デアリマシテ、洵ニ生産家トシテモ、又育成利用家トシテモ、將來迷フ所ナイ進路ヲ示サレタモノト思フノデアリマス、デアリマスルガ、生産關係ヲ持ツテ居ル者カラ考ヘマサルト、マダソレデモ本當ノ疑問ハ氷解シナイノデハナカラウカ、ソレハ此ノ度ノ馬政計畫ノ中心ト成ツテ居リマスモノハ、アンブロノルマン種及ビ其ノ系統ニ屬スル中間種ヲ中心トシテ、全部ノ乗馬ガ造成セラレ

ネバナラス、又輓馬小格輓馬ノ大部分モ之ニ依ツテ造成セラレ「ベルシユロン」系ノ重種ガ、其ノ一部ノ輓馬トシテ造成セラレル方針ニナツテ居リマス、第一次馬政計畫以來ノ成績經過ヲ追想致シマスルマデモナク、當時日本ノ在來種ト云フ馬ノ能力及ビ體型、或ハ輓曳多載ノ力サウ云フモノガ露西亞ノ「トロクター」ヲ中心トシタ馬ト比較シテ遙ニ及バナカツタ、是デハ將來ノ國防上逆モ不安ヲ免レナイト云フノデ、明治三十九年ニ第一次馬政計畫ガ成立實行ニ入ツタノデアリマス、此ノ第一次馬政計畫ニ於キマシテハ、乗馬ハヤハリ輕種ヲ中心トシテ之ニ充テ、又同じ乗馬デアリマシテモ輕快敏速ノ主トセザル乗馬ハ、之ヲ中間種ニ求メテ居ル、更ニ輓馬デアリマシテモ、非常ナ重量ノアル物ヲ輓ク所謂重輓馬トシテハ、重系種ヲ主トシ、輕輓馬トシテハ「アングロノルマン」ノ如キ、或ハ「ハクニー」ノ如キ中間種ヲ大體ソレニ當嵌メルヤウニシテ、馬ヲ作ツテ參ツタノデアリマス、滿洲事變並ニ此ノ度ノ支那事變ノ經驗ノ結果ハ、乗馬ハヤハリ輕種ハ不適當デ、飼養管理ニ非常ニ困ル、戰地ノ飼料ノ乏シク、設備ノ不完全ナ所ニ、進歩的ノ生活ヲ續ケテ來タ輕種デハ中々飼養管理ニ不便ヲ感ジ

テ、ソレガ爲ニ能力ヲ減殺シテ居ル、斯ウ云フヤウナ關係カラ、茲ニ輕種ノ乗馬ニ代ヘルニ「アングロノルマン」ヲ以テセラレタモノデアルト思フノデアリマス、ソコデ此タビノ馬政計畫ニ依ツテ「アングロノルマン」ヲ中心トシテ、是カラ總テノ戰列部隊ニ適應スベキ軍馬ヲ造成セシムル、斯ウ云フ御方針ニナツタノデアリマスガ、扱テ是ガ十年二十年三十年四十年ト經ツテ、果シテ此ノ能力ガ變化ヲ見ナイデ行クデアラウカト云フ點ニ吾々ハ疑問ヲ持ツノデアリマス、今回ノ「アングロノルマン」ヲ中心トシタモノハ、大體軍ノ要求ニ應ズル日本内地ニ保有スル馬ノ中ニ於テ、一番宜イモノデアリマセウケレドモ、嘗テ「アラブ」ト云フモノガ非常ニ粗食ニ堪ヘ、飼養管理ニ容易ニシテ、サウシテ日本人ノ體格ニ相應シイ、又耐久力ニ非常ニ富シダモノデアルト云フノデ、日本ノ軍馬ハ「アラブ」ヲ中心トシテヤラウト云フ方針ニナツテ、今日マデ參ツタノデアリマス、其ノ種牡馬ハ多ク外國カラ求メテ之ヲ内地化シテ參ツテ居ル、然ルニ世界中ニ於テ最モ耐久力ニ富ミ粗食ニ堪ヘ飼養管理ニ容易ニシテ、日本人ノヤウナ體格ノ小サイ者ノ乗御使役ニ便デアツタ「アラブ」ハ、少シ背ガ低イカラト云

フノデ、之ニ「サラブレッド」ヲ掛合ハシテ、所謂「アングロアラブ」ト云フモノヲ作ツテ、丁度良イ加減ノ體型體格ノモノヲ作り上ゲルト云フコトデ參ツタノデアリマスガ、原產地ニ於ケル「アラブ」ハ成程粗食ニ堪ヘ飼養管理ガ容易デアツタノデアリマスケレドモ、一度是ガ日本ニ渡ツテ參リマス、日本ノ種牡馬ニ供用シ、ソレニ依ツテ生レタル子供、孫、曾孫、段々代ヲ重ネルニ隨ツテ、日本化シテ參リマシテ、飼養管理ノ方法モ自ラ異ツテ來ル、最初理想トシタ所ノ能力、最初理想トシタ所ノ體型デハ間ニ合ハナクナツタト云フ實例ヲ考ヘマシテ、果シテ「アングロノルマン」ノミガ今日ノ能力今日ノ體型ヲ崩スコトナシニ行ケルモノデアラウカドウカ、私ハ日本ノ馬ノ生産ノ實情ニ鑑ミ、全國ノ育成管理ノ實情ニ鑑ミ、再ビ變化セネバナラス時期ガ到來スルコトヲ豫想セザルヲ得ナイノデアリマス、三十三年目ニ突如トシテ今回馬政計畫ノ變改ヲ見テ、當業者ニ一大衝動ヲ與ヘ、茲ニ一大問題ガ起ツテ參ツタノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ事柄ガ將來私ハ全然ナシトハ考ヘラレナイノデアリマス、馬政當局ノ技術的御判斷ヲ以テスレバ、果シテ其ノ御確信ガアリヤ否ヤ、之ヲ伺ツテ置キタイ

○荷見政府委員 説明員カラ御答致サセマス

○左々田説明員 只今大石サンカラ御話ノアツタ全國的ニハ大體馬ノ改良ハ決ツテ居リマス、併シ現在マデ陸軍デ御使ニナリマシタ軍馬ニ付テ、殊ニ乘馬ニ付テ、其ノ役種別ニ御判斷ナサル所ニ依リマス、輕種ニ屬スルモノ——マア主トシテ「アラブ」系ダト思ヒマスガ、是ハ大體四デ、他ノ中間種系統ノモノガ五ト云フヤウナ比率ニナツテ居リマス、所ガ今回ノ實戰ノ結果、從來ノ四ト五ノ比率ノ輕種ノ方ノ成績ガ餘リ良クナクテ、寧ロ中間種系統ノモノガ粗飼粗管ニ堪ヘ、持久力ガアルト云フヤウナ尊イ經驗ノ結果、輕種ノ方ノ制限スル必要ガアルト云フヤウナコトデ、今回サウ決ツタノデアリマス、ト申シマシテモ將來此ノ輕種「アラブ」系統ノモノヲ、絶對ニ排除スルノデハナイノデアリマシテ、將來乘馬ノ方ニ付キマシテモ、相當ヤハリ血液ハ尊重シテ參リマシテ、改良上ニハ注入シテ參ルノデアリマス、純血ノ輕種ヲ使フコトハ、是ハ陸軍ノ方デハ要望サレテ居ナイノデアリマスケレドモ、乘馬ニ對シマシテハ相當ノ悍威ト相當ノ輕快性ヲ付與スル爲ニ、輕種ト云フモノハ何處ニデモ必要ナノデアリマ

ス、ソレデ極端ニ純粹ノ輕種ヲ軍馬トシテ御使ヒニナルコトヲ排除サレテ居ルノデアリマシテ、「アラブ」系統ノ輕種ノ血液ハ、馬ノ改良ニハドウシテモナクテハナラヌモノデアリマス、デアリマスカラ今後トモ之ヲ改良ニ使フコトニ於キマシテハ、從前ト餘リ變ラヌノデアリマス、唯其ノ強要スル範圍ヲ定メマシテ、出來ルダケ菲薄ナ種性ニ陷ラナイヤウニ、又飼養管理ニ不便ノナイヤウニト云フコトニナツタノデアリマシテ、將來トモ此ノ血液ハ尊重シテ參ルノデアリマス、其ノ點ダケヲ御斷リシテ置キマ

○大石委員 此ノ點ダケ、ハツキリ決メテ置キタイト思ヒマス、只今馬産課長ノ技術的御説明ハ一應御尤ト存ジマス、併シ吾々素人ノ考ヲ以テマシテハ、尙ホ技術家ノ御説明ニハ納得ガ行カナイ、甚ダドウモ不條理デアリマス、一寸了解シ兼ネル、將來「アングロノルマン」ヲ中心トスル馬ノ生産改良ニ付テハ、常ニ「アラブ」ノ血液ヲ以テシ、或ハ「サラブレッド」ヲ用ヒルト云フヤウナコトハ、是ハ固ヨリ御話ノ通りデ行カネバナラスト思フノデアリマス、併シ私ノ今申上ゲマシタコトハ、サウ云フ配合ヤ、サウ云フ理論上ノ技術的觀察ト云フヨリ

モ、日本ノ馬ノ生産育成ノ實情ニ鑑ミテ、私ハ此ノ憂ヲ持ツノデアリマス、技術的ノ所謂サウ云フ配合、其ノ他ノ改良ノ御方針ハ、ソレデ別ニ私ハ異議ハアリマセヌ、ソレハ否定致サヌノデアリマス、ケレドモ内地ニ於ケル生産ノ實情ヲ具サニ考ヘ、又一般ノ馬ヲ保有スベキ多數ノ國民間ニ於ケル育成、飼育ノ實情ニ鑑ミマシテ、左様ナ譯ニハ參ラスデナイカト云フ私ノ結論ヲデアリマス、昨日モ大臣ニ特ニ突込シテ御願ヲ致シマシタ牧野ノ問題デモ、是ガ東北、北海道ノ如キ國有林ノ豐富ナ所ハ、大臣ノ御決斷ニ依ツテ或ハ相當ノ放牧地、採草地ノ御提供ヲ願フコトハ出來ルカモ知レスノデアリマス、ケレドモ此ノ表ヲ以テ見マシテモ、愛知縣ノ如キ、アア云フ廣イ地方ニハ、殆ド國有林ト云フモノガナイト言ツテ宜イ位デアリマス、其ノ他各地馬ノ育成、飼育ヲ致シテ居ル地方ヲ見マシテモ、中々放牧飼育ト云フモノノ容易ニ行ハレナイ内地ノ實情デアアルノデアリマス、生産地方ニ於キマシテ亦然リ、斯様ノ關係デ結局舍飼ト云フモノガ行ハレテ、或ハ舍飼ガ行ハレナイシテモ、日本在來ノ馬ノ育成、飼育ノ習慣、經驗上、一戸一頭、二頭ヲ持チマスル所ハ稀ナノデアリマス、ヤ、ハリ馬ニ對スル親シミヲ持ツ

テ居ルノガ日本人ノ特性デアリマシテ、ソレガ爲ニ經濟的ニハ殆ド合ハナイ、馬ノ生産、或ハ馬ノ飼育ヲスルニ付キマシテモ、經濟的觀念ヲ離レテ、馬ニ對スル親シミト云フモノガアツテ、今日マデ其ノ生命ノ大部分ヲ繫イデ來タ、サウ云フヤウニ人ニナジミ、人ニ賴ル、人モ亦之ヲ愛シ親シムト云フ動物デアリマスカラ、自然粗末ナ取扱ガ出來ナイ、粗末ナ育成ガ出來ナイ、粗食ニ耐ヘル、可愛イ子ニハ旅ヲサセルト云フ諺ガアリマスケレドモ、可愛イ子供程旅ヲサセテ難儀ヲサセタクナイ、ソコデ育成ノ上ニ於キマシテモ、生産ノ上ニ於キマシテモ、自然ト日本ノ馬ノ生産育成ノ實情ガ、遂ニ日本馬ヲ改良シ、在來馬ノ如ク放ツタラカシテ宜シイ、滿洲馬ノ如ク、蒙古馬ノ如ク放ツタラカシテ宜シイト云フヤウナ、或ハ今日ノ北海道ノ野ツ子ノ如キ育デ方、飼ヒ方ハ出來ナイ、ソコデ何時カ知ラズ識ラズノ間ニ此ノ弊害ガ馬ノ體格ノ上ニ現レ、健康ノ上ニ現レテ來ハシナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、今日馬事行政ノ上ニ於テ是等ニ著服セラレテ、左様ナ弊ニ陷ラヌヤウナ御計畫ガアツテ然ルベキモノデハナイカ單純ニ唯「アングロノルマン」ヲ選ンダカラ、是ガ乘馬ニモ輓馬ニモ、小格輓

馬ニモ悉ク宜シイト云フヤウナ、唯一片ノ概念的デアツテハ、遠カラザル將來ニ於テ再ビ馬政ノ變革ヲ見ナケレバナラヌヤウナ時期ニ再會セストモ限ラヌ、今カラ之ニ對スル對策ヲ當局トシテ講ゼラルベキモノデハナカラウカト云フ意味ニ於テ、私ハ御尋致シテ居ルノデアリマス

○荷見政府委員 只今前段ノ御話ノ、内地ニ於キマス馬産ノ現狀カラ見マシテ、今回ノ改正ノ所謂中間種ノ飼育ガ、ウマク行クカドウカト云フ點ニ付キマシテハ、先般御要求ニ依ツテ御手許ニ配付致シマシタ「輕種、輕半血種及重種牝馬數調」等ヲ御覽願ヒマシテモ、昭和十一、十二兩年度ニ互リマス全國ノ明ケ三歳以上ノ種牝馬ヲ調査シタ結果デモ、調査種牝馬總數三十一萬餘頭ノ中、輕種及ビ輕半血種ニ屬スルモノガ一万三千、重種ニ屬スルモノガ二萬三千ト云フヤウナ狀態デアリマシテ、他ハ總テ今回ノ計畫ニ副フモノト考ヘテ居ルノデアリマス、又今後、今回ノ馬政計畫ノ改變ニ伴ヒマシテ、其ノ目的ヲ達スルヤウニ十分ナ施設ヲシナケレバイケナイデハナイカト云フ御意見デアリマシタガ、ソレハ私共モ全く其ノ通りニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、今回ノ施設ノ各般ノ仕事ガ此ノ方向ニ向イテ

立テラレテ居ルト云フコトヲ、抽象的ニハ申上ゲラレルト思フノデアリマス

○大石委員 只今ノ御答辯ニ於テ満足トハ申シ兼ネマスケレドモ、大體満足スルヨリ外ナイト思ヒマス、唯願クハ只今色々御計畫ニナツタ施設ガ不十分デアルト云フコトハ、昨日來御話モアリマシタシ、吾々モサウ思ツテ居ルノデアリマスカラ、更ニ一段ト此ノ施設ノ擴充充實ヲ致シマシテ、其ノ實績ヲ擧ゲラレルヤウニ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス——農林大臣御出席デアリマスカラ、昨日ノ御尋致シヲ僅カ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ此ノタビ御提案ニナリマシタ軍馬資源保護法案ニ基ク所ノ鍛鍊馬競走ガゴザイマシテ、此ノ鍛鍊馬競走ニ依ツテ從來縣ニ行ハレテ居リマス所ノ地方競馬ガ廢止セラレルコトニナル、現在百十六箇所ノ地方競馬場ガ、本法案ニ依リマスルト一府縣一箇所以内、北海道ハ三箇所以内ト云フコトニ制限セラレテ、殆ド二分ノ一以下ニ減ルノデアリマスガ、此ノ場所ニ付キマシテ、全國ノ聯合會長會議ヲ開カレマシタ際ニモ、一府縣一箇所ハ政府ガ斯ウ云フ法律ヲ御作りニナル上ニ於キマシテハ、是ハ已ムヲ得ナイ、併シナガラ地方ト致シマシテハ、一府縣一箇所ヲ満足シ得ル

ト云フ所モアリマセウケレドモ、大部分ハ満足シ兼ネルノガ多イノデアリマス、殊ニ北海道ノ如キハ現在十四箇所ノ競馬場ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレガ殆ド五分ノ一ノ三箇所ニ減ラサレマスコトハ、整理上カラ非常ナ困難ヲ來ス、又三箇所ヲ選ブト云フコトニ付キマシテモ非常ナ困難、混雜ヲ來ス虞ガアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、北海道ハ少クトモ五箇所ノ競馬場ガナケレバ整理、施設ノ上ニ非常ニ困ル、地域ノ廣イコト、馬ノ數ノ多イ點カラ申シマシテモ、五箇所ハ適當デアルト私共ハ思フノデアリマス、内地ニ於キマシテハ投票ヲ伴フ競馬ヲ行ハナクテモ行カレル地方モアリマセウケレドモ、實際ニ於キマシテハ地方ハヤハリ行ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居ル、是ハ賣レルカラ鍛鍊馬競走ヲ認メル、賣レナイカラ鍛鍊馬競走ヲ認メナイト云フヤウナ意味合デハ、其ノ地域ノ銓衡宜シキヲ得ルモノデナイト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ、立法技術ノ上カラ一府縣一箇所以内ト御定メニナツタカハ知リマセウケレドモ、以內ト云フ言葉ガ、一府縣少クトモ二箇所乃至三箇所ヲ持ツテ居リマシタノガ、一箇所モ當ラナクナルト云フ不安ヲ持ツテ居ルノデアリマス、

此ノ點ニ付キマシテ此ノ案ノ審議上、安心シテ行クヤウニ、馬券ノ從來ノ成績ガ賣レルトカ賣レナイトカ云フ問題ニ拘ラズ、馬事思想ノ涵養上、或ハ軍馬資源ノ保護上、軍馬候補馬ノ能力試驗ノ必要上、一箇所ハ置ク御見込デアルカ、又北海道ハ何トカ之ヲ五箇所位ニ増加シテ戴ケル御見込ハナイカ、此ノ點ヲ一ツ伺ツテ見タイノデアリマス

○櫻内國務大臣 大石君ノ御話ノ如ク、北海道ノ如キハ現在十四箇所アリマスノヲ三箇所ニスル、又縣ニ依ツテ二箇所、三箇所アルノヲ一箇所ニ減ラスト云フノハ、馬事思想普及ノ爲ニ、サウ云フ競馬場ヲ減ラス必要ハナイデハナカラウカト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、此ノタビノ改正案ハ數ハ減ラスノデアリマスケレドモ、整備シテ之ヲ公認シテ、サウシテ完全ナル鍛鍊馬競走ヲシタイ、斯ウ云フ意味デアリマシテ、從來ト雖モ完備シタ競馬場モアリマセウケレドモ、御承知ノ如ク地方競馬規則ト云フ變則的ナモノデアツタノヲ、此ノタビハ此ノ法律ニ依ツテ公認ラシテ、從來トハ面目ヲ一新シテ、一層本來ノ使命ヲ全ウスルヤウニ致サセタイ、斯ウ考ヘマシテ數ヲ減ラスコトハ可ナリ躊躇致シタノデアリマスケレ

ドモ、風紀ノ關係上カラモ考へ、又各般ノ情勢カラ色々審議サレタ結果、此ノ程度ノ數デ今回ハ御協賛ヲ仰イダラ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ決定致シタノデアリマス、昨年ノ議會デアリマシタカ、慥カ北海道ニハ五箇所ト云フ風ニ決議ガアツタ思ヒマスガ、五箇所ニシタラ宜イデハナイカト云フ風ナ感ジモ致スノデアリマスガ、既ニ三箇所ト云フコトニ決定ヲ致シタノデアリマス、將來ニ於キマシテ、之ヲ殖ヤスカ殖サヌカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ或ハ研究ノ餘地ガアルカモ知レマセヌケレドモ、今日只今ノ所ニ於キマシテハ、先ヅ此ノ程度ニ依ツテ今回公認スベキ所ノモノヲ、十分設備ヲ完備シテ目的ヲ達シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○大石委員 只今御尋シタ中デ、一府縣一箇所ト云フ點ハ如何デスカ

○櫻内國務大臣 各府縣一箇所ト云フ問題ニ付キマシテハ、馬匹ノ需要等ヲ參酌致シマシテ、場所數ハ成ベク之ヲ整理スル方針デアリマスケレドモ、之ニ依リ地方ノ馬匹ノ増産、其ノ他ニ付テ支障ヲ生ズルガ如キコトハ避ケタイ方針デアリマス

○大石委員 次ニ金額ニ付キマシテ、屢々本委員會ニ於キマシテモ金額及ビ開催日數

開催箇所等ノ質問應答ガアツタノデアリマスガ、改メテ伺ツテ置キタイノハ、此ノ金額ヲ昨年ノ衆議院ヲ通過致シマシタ案デハ五圓、期日ハ六日ト云フコトニナツタノデアリマス、不幸ニシテ貴族院ニ於テ審議未了ニ終ツタノデアリマスガ、所謂民間ニ於ケル要望モ此ノ金額ヲ五圓以内、開催日數ヲ六日以内トスルト云フ希望ヲ持ツテ居リ、且ツ地方ヨリ陳情其ノ他ノ運動モアルノデアリマス、私共モ馬ニ關係ヲ持ツテ居リマシテ、競馬開催ノ責任者ニモナツテ居ル關係デ事情ヲ承知シテ居リマスガ、東北、北海道地方、要スルニ馬ノ生産地ニ於キマシテハ、是マデノ成績ハ不振ノ状態ニアリマシテ、寧ろ收入相償ハズ、國、團體等ノ助成ガナカツタラバ、經營困難デアルト云フヤウナ状態デアリマス、併シ此ノ開催ノ日數ガ四日デアリマス、最後ノ優勝競走ノ際ニ於ケル馬ノ數、或ハ開催中ニ於ケル出場馬數ガ非常ニ少イ關係カラ「ファン」ノ興味ヲ引キマセヌシ、隨テ一層不振ノ状態ニ陥ツテ居ルヤウナコトモアルノデアリマス、殊ニ今日マデノ地方競馬ニ對スル農林省ノ助成ハ、特定ノ競走種別ヲ指定セラレマス爲ニ、競走種別ガ非常ニ多イノデ、八種類或ハ九種類ヤラネバナラス、ソレデ

三日間ヤリマシテモ三十六鞍位シカ乘リマセヌカラ、優勝競走ニナリマシテ四頭立デノ競走ヲスルニハ、一著馬ダケデハ足ラナイカラ結局二著馬モ入レネバナラス、隨テ優秀ノ差ハ初カラ分ツテ居リマス、分ツテ居ル馬ニ投票ガ多クテ、一方ニ投票ガナケレバ、假令ソレガ當ツテモ配當ガナイト云フヤウナ關係デ、自然馬券ガ賣レナカツタト云フノガ、多數ノ競馬場ニ於ケル實情デアリマス、ソレデ之ヲ六日ヤリマスレバ其ノ間ノ競走數ハ五日間五十鞍デ五十鞍ナラバ同ジ種別ノモノガ一日ニ二鞍アルモノモアリ、一鞍ノモノモアリマス、五日間ニハ一著馬ガ五頭或ハ七頭、八頭出ル、サウ云フモノガ優勝競馬ニ出テ行クコトニナリマスカラ、隨テ興味モ持ナマスシ、馬ノ優秀ガ容易ニ判斷ガ付カヌカラ、馬券ガ賣レル、ソレデ之ヲ六日間ニスルト云フコトノ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノ度ノ鍛鍊競走ニ依リマス、特ニ鍛鍊ヲ經タル馬デナケレバナラス、隨テ競走種別ガ從來ノ如キ多種多様ニナラナイカラ、餘程單調化サレテ參ル、サウ致シマスレバ、開催ノ日數ハ出場馬數ニモ却テ好影響ヲ持ツテ來ルカモ知レナイト思フノデアリマス、併シ地方ニ依リマシテハ、ヤハリ六日

間ヤリタイト云フ所モ澤山アリマスガ、ソレヨリモ重大ナノハ金額ノ問題デアリマス、金額ハドウシテモ五圓以内ト云フコトニ修正スルトヲ御認メ願ヒタイトサヘ考ヘテ居リマス、五圓ト云フ問題ハ、是ハ殆ド全國關係者ノ輿論デアリマス、一體三圓以内ガ適當ダト云フ司法省、內務省等ノ御意見ノヤウデアリマスガ、何處ニ三圓ト云フ基準ヲ求メラレタカト云フト、社會風教上或ハ射倖心ヲ誘發スルコトヲ避ケルトカ云フヤウナ抽象的ナ御意見カラ出テ居ルニ外ナラナイ、此ノ風教上ノ問題ト云フヤウナコトニ付テハ、私ハ更ニ一步進ンデ內務大臣或ハ司法大臣ニ伺ヒタイと思ツテ、其ノ機會ヲ得ナイデ居ルノデアリマスガ、私ハ此ノ風教上ノ問題ト云フコトニ付テハ、甚ダ不思議ニ思ツテ居ルノデアリマス、日本ニ於ケル公認競馬ガ實施セラレマシテ以來既ニ久シク、地方競馬ニシマシテモ、モウ十年ヲ越エテ居リマシテ、今日競馬ニ對スル投票ト云フコトハ、殆ド國民ノ常識ニナツテ居ル、之ヲ以テ風教ヲ案ストカ、賭博類似ノコトト見ルトカ、射倖心ヲ誘發スルトカ言ツテ、問題ニスル時機ハ疾ウニ通り越シテ居ル筈デアリマス、今日尙ホ左様ナ考ヲ持ツテ居ル人ガアルトシタナラバ、

ソレハ甚ダ時代ヲ知ラザル人デアル、勸業
債券ニシテモ三千圓、五千圓ノ當リ籤ガア
リ、或ハ今度ノ軍事公債ヲ賣ルニシテモ、
ヤハリ五百圓、千圓ノ當リ籤ガアル、ケレ
ドモ是等ノ當リ籤ヲ以テ、決シテ風教ニ害
ガアリ、射倖心ヲ誘發スルナドトハ誰モ思ッ
テハ居ラナイ、東京ニ於ケル萬國博覽會ニ於
テモ、ヤハリ富籤式ノモノヲ許シテ居リマ
ス、日本國民ノ思想ハ左様ニ不健全ノモノデ
ハナイ、又ソレ程教育ガ不徹底デハナイト
思ハレルノデアリマス、唯習慣的ニ風教ヲ
害スルデナイカ、或ハ賭博類似デナイカト
見ル、所ガ一步退イテ他ノ事業ヲ見タラド
ウカ、何ヲ見テモ世ノ中ニ弊害ノ無イモノ
ハナイ、危險ノナイモノハナイ、一番堅實
トサレテ居ル農業デサヘモ、良ク穫レル所
ハ二毛作、或ハ一毛作ノ方ガ多イ、一年ニ
タツタ一度ノ收穫ヲ見込デ全力ヲ傾ケ、
全資本ヲ投ジテヤレバ冷害ニ遭フ、凶作ニ
遭フ、水害ニ遭フ、時ニハ天災地變ノ爲ニ
無收穫ニナルコトサヘアルノデアリマス、
競馬ガ何故ニ賭博類似デアルカ、何故射倖
心ヲ誘發スルモノデアルカ、吾々ニハ少シ
モ解釋ガ付カナイノデアリマス、馬ハ能力
ヲチャント時計ヲ以テ示シテ居ル、ドノ馬
ハドレダケノ能力ガアルカ「ファン」ト云フ

モノハ、チャント計算シテ居ル、此ノ馬ハ
天氣ノ時ハ走ルトカ、此ノ馬ハ馬場ガ軟イ
方ガ好イトカ、硬イ方ガ好イトカ云フコト
マデ、トデモ吾々ノ想像サヘ付カナイ程調
ベテ居リマス、其ノ計算ト、其ノ經驗トヲ
以テヤルコトデアルカラ、賽子ヲ轉ガスヤ
ウナモノトハ全然違ヒマス、或ハ運ヲ天ニ
任セテヤルト云フヤウナコトデハ決シテナ
イノデアリマス、斯ノ如キコトヲ以テ風教
ヲ紊ストカ、或ハ賭博類似ト見ルノハ官僚
獨善ト云フカ何ト云フカ、一ツノ習慣ニシ
カ過ギナイ、サウ云フ習慣ニ依ツテ之ヲ曲
解シテ居ル、サウ云フ建前カラ金額ヲ制限
シテ行クト云フコトハ、是ハ吾々ノ採ラザ
ル所デアル、是ハ社會ノ實情ヲ無視シタコ
トデアルト私ハ思フ、公認競馬ハ二十圓以
下五圓以上ト疾ウニ金額ガ定メラレテ居ル、
ケレドモ今日ハモウ五圓以上十圓ト云フ
ヤウナモノハナイ、元ハ北海道ニ於キマシ
テハ十圓ノ投票券ヲ賣ツテ居リマシタガ、
今ハモ二十圓ニ變ツテ、法律ニ依ツテ全
國二十圓デアリマス、所ガ同ジ勝馬投票ヲ
ヤル地方競馬ハ一圓デアル、二十分ノ一デ
アリマス、トデモ二十分ノ一ノ投票ヲ以テ
満足ハ出來ナイ、ソレデ手心ガ加ヘラレル
ト云フコトニ依ツテ、屢、違反ナドガ起ル、

埼玉縣ノ如キ一舉ニ千二百何人ト云フ違反
者ヲ出スト云フヤウナコトハ、取締ノ手心
ニ依ツテヤラレル爲デアル、ソレデ當業者
ハ之ヲ早ク法律化シテ戴キタイト、年々要
求シテ居ツタ、所ガ此ノタビ幸ニ法律化シ
テ戴クコトニナリマシテ、洵ニ結構ナコト
デアリマス、所ガ金額ヲ三圓ト今定メラレ
ントシテ居ル、此ノ法律ガ一度定メラレマ
シテ、實行ニ入ツテ、更ニ三圓デハ少ナカ
ツタカラ之ヲ五圓ニ直セト言ツタ所ガ、中
中ハ直ルモノデアリマセス、是ハ容易
ニ直ラス、定メル時ニ定メテ置カテカツタ
ナラバ、開催日數、開催地域トカ、金額ノ
改正ハ容易ニ出來ナイト私ハ思フノデアリ
マス、此ノ三圓ヲ公認競馬ノ二十圓ト比ベ
レバ、七分ノ一強ニシカ過ギナイ、地方競馬
ガ初メテ設ケラレマシタ時ノ日本ノ經濟力
ト今日ノ經濟力ト、又國民個々ノ經濟力ノ
變化シタ關係ヲ考ヘマシテモ、十一年前ニ
地方競馬ガ一圓ト定メラレタ時ト、今日三
圓ト定メラレタ時ニ於テ、ドレ程ノ差ガア
ルカ、經濟力ハ既ニ三倍以上ニナツテ居ル、
斯様ナ場合ニ於テ三圓ト決メマシタナラバ、
ヤハリ昔ノ一圓ヲ其ノ儘續ケテ居ルノト同
様デアラウト思フ、是デハ到底「ファン」ノ滿
足ヲ得ルコトガ出來ナイ、或ハ之ガ爲ニ二

枚買ヒ、三枚買フ者ナシトセス、賣ラナイ
トシマシテモ、取締ヲ潜ツテ、サウ云フコ
トガナイトハ限ラスノデアル、斯様ニ公認
競馬ト比較致シマシテモ、餘リ等差ガアリ
國民經濟力ノ變化膨脹シタ今日ト比較致シ
マシテモ不適當デアリマス、仍デ是ハ五圓
以內ト御決メニナツテ置キマスコトハ、法
ノ運用上アア云フ違反等ヲ防グ上ニ於テ、
最モ適當ナモノデアル、寧ロ是ハ十圓以內
トシテ戴キタイトサヘモ考ヘテ居リマスガ
中々警保局デアルトカ、司法省デアルトカ
云フモノハ、其ノ解釋ヲ異ニ致シテ、サウ
ハ行カヌ、此ノ一般の輿論デアリマス五
圓、是ハ是非維持サセテ戴キタイト思フノ
デアル、昨日デアリマシタカ、警保局長
ノ御説明ニ依ルト、三圓ガアリ、二圓ガ
アリ、一圓ガアル、斯ウ云フ差別ガアツ
テハ面白クナイカラ、三圓ト決メタ、所ガ
法文デハ以下トアリマスカラ二圓デヤツテ
モ、一圓デヤツテモ、此ノ法案デハ宜イト
云フコトニナツテ居ル、決シテ三圓ト統一
セラルベキモノデハナイ、三圓デ宜シイナ
ラバ、ハツキリ三圓トスベキデアル、以內
トアル以上ハヤハリ以內ニ於テ行フコト
ガ出來ル、公認競馬デハ五圓以上二十圓以
內トアツテ、二十圓、五圓トチャント最高

最低ヲ決メテアル、所ガ是デハ警保局長ノ説明ノ如ク、三圓ト規律シ統一スルコトハ出來ナイ、三圓デハ東北ヤ北海道方面ノ如キ經濟力ノ乏シイ民力ノ發達シナイ所ニ於テハ、満足スルカモ知レナイガ、關東、關西、中國、其ノ他九州ノ一部ノ地方デハ、三圓ノ馬券ヲ一枚買ツテ満足ヲスルト云フコトハ、出來ルモノデアリマセヌ、却テ必ズ法ヲ犯ス者ヲ醸成スルト云フコトニ陷ルノデアル、風教上カラ來タ金額ノ決定ハ、甚ダ無意味デアル、風教的ニ見ルコトハ國民ノ常識ヲ疑フモノデアリマス、之ニ依ツテ風教上ノ弊害ヲ起ス者ハ、最モ修養ノ足ラナイ、教育程度ノ低イ者デアリマス、一般國民ヲ以テ法律スルコトハ出來ナイ、デアリマスカラ此ノ金額ヲヤハリ五圓以內ト御修正下サルカ、修正ヲ御認メ下サル御意見ガアルカドウカ、之ヲ一ツ御伺致シタイ

於テモ相當成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、此タビハ只今御話ノ如ク軍馬トシテ鍛鍊シタ馬ノミヲ出場サセルノデアリマシテ、大體四日間デ宜シイノデハナイカ、斯ウ云フ見地カラ四日ト決メタノデアリマス、只今ノ所之ヲ六日ニ修正スルト云フ意見ヲ、政府ニ於テハ持ツテ居ラナイノデアリマス、殊ニ六日間繼續シテ一般ノ「ファン」ガ競馬場ニ入ツテ、始終其ノ方ニ參ツテ居ルト云フコトガ、平素ノ生業ノ上ニモ多少ノ差障リガアルデハナイカト云フコトモ考ヘラレナイノデハナイノデアリマス、ソレデ先ヅ四日間デ施行シテ差支ナカラウデハナイカ、斯ウ思ツテ居リマス、ソレカラ三圓ト五圓ノ問題デアリマスガ、是ハ御説ノ如ク、東京附近デアルトカ大阪附近デアルトカ云フ方面デハ、五圓ト云フ金額ハソレ程ノ金額デナイカモ知レマセヌガ、併シ東京デアルトカ大阪デアルトカ、サウ云フ方面ニ於テハ御承知ノ如ク、日本競馬會開催ノ從來ノ公認競馬場ガアルノデアリマシテ、先ヅ此ノ各府縣ニ於キマスル競馬場トシテハ、從來一圓デアツタノヲ三圓ニ上ゲルト云フ程度ガ、適當デアラウト考ヘテ居ルノデアリマシテ、今日直チニ此ノ案ヲ修正シテ五圓ニスルト云フヤウナコトハ、當局ニ於テ

ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、此ノ際ハ原案ニ付テ御協賛ヲ願ヒタイと思フノデアリマス

○大石委員 農林大臣ニモウ一點御伺ヒ致シタイと思ヒマス、此ノ法律ノ施行ニ伴ヒマシテ出來ル中央機關ノ運用ニ關シテ、御尋致シテ置キタイ、是ハ他ノ委員ヨリモ屢々御尋申上ゲ、殊ニ政府委員ヨリモ色々御説明ガアリ、大臣ヨリモ御説明ガアツタノデアリマスガ、此ノ運用ニ付キマシテハ、先般日本競馬會云々ト云フ御話ガ本會議ニ於テアリマシタガ、從來地方競馬ノ取扱ハ、民法上ノ公益法人デアリマス帝國馬匹協會ガヤツテ居リマシタ、競馬ニ出走スル馬ノ登録ヲ、農林省ガナサシムルコトニナリマシテ、其ノ登録事務モ馬匹協會ガ扱ツテ居ツタノデアリマス、斯ノ如ク馬匹協會ハ馬ノ生産育成利用ニ對シテ、中央ノ唯一ノ團體トシテ常ニ馬產馬政ノ爲ニ盡シテ居ツタ團體デアリマス、殊ニ此ノ公認競馬ノ復活又地方競馬ニ關シテ省令ヲ法律化スルコトニ付キマシテハ、多大ノ盡力ヲセラレ、其ノ他有ユル犧牲ヲ拂ツテ今日ニ至ツタノデアリマス、漸ク酬ヒラレマシテ、茲ニ地方競馬ガ法律化セラレントスル時ニ當リ、中央會ナル機關ガ出來マシテ、全然馬匹協會ノ手ヲ去ル、

又出走登録馬ノ事務ノ如キモ、是亦自然消滅ヲ致スコトニナルノデアリマス、此ノ機關ハ我國ノ馬產育成利用ノ上ニ、將來モ必要ナル任務、使命ヲ持ツテ居ルモノデアリマスガ、常ニ財源ニモ乏シク、思フヤウニ働クコトガ出來ズ、政府及ビ日本競馬會ガ主トシテ助成ヲシテ居リマスガ、日本競馬會ニ於テモ指定助成デアリマシテ、十分ナ活動ヲ爲サシムルコトガ出來ナイ、政府ノ補助デアリマシテモ、ヤハリ指定補助デアリマシテ、十分ニ協會ノ機能ヲ發揮シテ、馬事思想ノ涵養ヤ、馬ノ育成生産ノ爲ニ活動スルコトガ出來ナイ、偶、地方競馬ノ關係ニ依ツテ相當ノ收入ガアリマシテ、ソレニ依ツテ活動シツツアリマスノガ、此ノ中央會バナラスコトニナリマス、本邦馬產育成ノ爲ニモ非常ナ不利益デアルト思フノデアリマス、且ツ總テガ統制流行リト申シテハ語弊ガアリマスケレドモ、統制々々デ、總テ物ヲ簡易化シヨウトスル時ニ當リマシテ、更ニ一ツノ中央團體ヲ設ケルト云フコトデアリマスカラ、此ノ點カラ見マシテモ私ハ餘リ感服ハ致シマセヌガ、唯帝國馬匹協會ハ民法上ノ一ツノ法人デアルト云フ關係ニ依ツテ、此ノ法律化サレタル鍛鍊競技ニ

關スル事務ノ扱ヒ上、不便デアルト云フコ

トニ依ツテ、已ムヲ得ズ中央會ヲ御作リニナルモノト存ズルノデアリマスガ、此ノ中央會ヲ運用セラルルニ當リマシテ、帝國馬匹協會トノ連絡其ノ他、帝國馬匹協會ヲ保護シテ行ク點ニ付テ、御考慮ヲ御願シタイト思フノデアリマス、帝國馬匹協會ト云フ御明示ハアリマセヌケレドモ、先般來既設ノ團體ト連絡ヲ保ツ、又馬匹協會トシテハ他ニ新シキ使命ヲ以テ活動ノ源泉ヲ與ヘテ行クト云フヤウナ、馬政局長官ノ御話モアツタノデアリマスガ、願クハ大臣ヨリ一言之ニ付テ、御説明ヲ御願シタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 帝國馬匹協會ト今回ノ中央機關、即ち鍛鍊中央會トノ關係ハ、出來得ル限り密接ノ連絡ヲ執リマシテ、目下ノ考トシマシテハ、役員ノ如キモ兼務デ行クトカ、其ノ他總テノ方面ニ於テ相協力シテ日本ノ馬產計畫ニ貢獻シテ戴キタイト思フテ居ルノデアリマシテ、政府トシテハ其ノ間ニ立ツテ、雙方ノ協力シテ進ンデ行クコトニ對シマシテハ、出來ルダケノ力ヲ盡ス考デ居リマス、今回ノ鍛鍊中央會ニ於キマシテハ、相當重イ任務モアルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テハ十分考慮ヲ拂ヒタイト

思ツテ居リマス

○大石委員 農林大臣ニ對スル質問ハ是デ打切りマシテ、次ニ內務大臣ニ御尋申上デマス、實ハ內務大臣ニ御尋申上デタイ主要ナル點ハ、只今農林大臣ニ申上デタ此ノ競馬ニ對スル取締ノ關係、又競馬ニ對スル警保局長ノ御説明、及ビ司法關係ノ方々ト風教ノ點ニ於テ大分觀察ガ違ツテ居リマスカラ、其ノ點ヲ改メテ御伺致シタイト思フタノデアリマスガ、丁度大臣御出席ノ際ニ、馬券金額ニ關聯シテ今農林大臣ニ申上デテ置キマシタカラ、大部分御聽取リ下サレタコトト存ジマスガ、重ネテ申上デマス、今日ノ馬券ノ投票ハ決シテ風教ニ害ノアルモノデハナイ、國民ノ常識デアルト云フ觀察ヲ私持ツテ固ク信ジテ居ルノデアリマス、此ノ關係ガ賭博類似思想、或ハ射倖心ヲ徒ニ誘發スルモノデアルト云フヤウナコトハ、私共ハ考ヘテ居ラスノデアリマス、唯競馬ニ依ツテ、或ハ色々ノ損失ヲシ、思ハザル損害ノ爲ニ派生的ニ起ル弊害ハ認メマス、併シ如何ナルモノデモ、今日弊害ナキモノハ世界ヲ通ジテナイ、ドンナ善イコトヲヤラウト致シマシテモ、善イコトノ反面ニ必ズ弊害ガアルト云フコトハ、私共常ニ政治的ニ固ク信ジテ居リマス、デアルカラ弊害

アルガ爲ニ本文ヲ窮屈ニシ、或ハ運用ガ片輪ニナルト云フヤウナコトハ、決シテ探ラザル所デアルト思フノデアリマス、此ノ點ヨリ吾々ハ五圓ト云フコトヲ希望シテ居リマスモノ、主トシテ內務省ノ三圓以內ト云フ御意見ニ依ツテ居ルカノヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、此ノ風教及ビ將來ノ取締ニ關シマシテ、只今マデ委員會等ニ現ハレタ御説明ニ依リマシテ、或ハ競馬ヲシテ誤リ觀察セシムル虞ガアリマスノデ、緊急已ムベカラザル國策ニ依ツテ國ガ全力ヲ擧ゲテ行ハネバナラス、此ノ馬政計畫ニソレガ爲一點タリト雖モ暗影ヲ來スコトハ、洵ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマシテ、此ノ點ニ付內務大臣ヨリ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 大石サンノ御尋ノ農林大臣ニ對スル御話ノ點ハ、大體私承リマシタガ、競馬ニ於テ馬券ヲ賣ルコトハ既ニ常識デアル、是ガ射倖心ヲ唆ルモノデナイ、或ハ風教上害ガナイト云フ御意見デアリマシタガ、其ノ點ニ付キマシテハ私共ハ必ズシモサウトモ思ハナイノデアリマス、一面社會ニ於キマシテハ、一體競馬ヲ馬券デヤルノハ宜クナイデヤナイカト云フ論ガ、相當

是ハ國策上重要ナ點デアリマスカラ、ソレ等ヲ總テ考慮致シマシテ、大體只今農林大臣ヨリモ御話ノヤウニ、地方ニ於ケル競馬トシテハ、此ノ金額程度ガ宜イノデハナイカ、之ニ依ツテ非常ニ地方競馬ヲ何カ惡イコトデモシテ居ルト云フコトカラ、抑ヘテ行クト云フヤウナ觀念ハ、內務省ト致シテハ毛頭持ツテ居リマセヌ、唯金額ノ問題ニナリマス、是ハ色々ノ見地カラ三省ノ事務當局間ニ於テ十分研究シタ所デアリマシテ、大體今日地方競馬ハ此ノ程度デ宜イダラウト私共信ジテ居リマス

○大石委員 風教上ノ點ハ見解ノ相違デアラカラ、是以上申上デマセヌガ、唯私共ハ斯様ナコトヲ實感致シテ居ルコトダケヲ申上デテ置キマス、日滿一體ノ滿洲ノ競馬ヲ私ハ直接見テ參リマシタ、國營ヲ以テヤツテ居リマス、所謂賽馬デアリマス、日本ニ於テハ競馬ト申シマスガ、滿洲デハ賽馬ト申シマス、其ノ國立ノ賽馬ハ何處ヘ行キマシテモ馬券ノ投票ハ勿論、其ノ外ニ「ガラ」ト云フモノヲヤツテ居リマス、是コソ本當ニ賭博同様ノモノデ、若シ極端ニ言ヘバ是コソ射倖心ヲ誘發スルノ甚シキモノデアルト思フ、一圓ヲ唯賭ケテドノ馬力計算モ何モ出來ナイ、唯一圓賭ケテガラ／＼ツトヤツ

テ鐵デビヨット出テ來タノデ、千圓モ當ツ
タリ五百圓モ當ツタリスル、斯ウ云フノサ
ヘモ國立デ滿洲ハ許シテ居ル、日滿一體、
本國民ハ斯様ナ狀態デアルノニ、滿洲人ガ
斯様ナモノヲ許サレテ居ルト云フコトハ、
ドウ云フ譯デアリマスカ(笑聲)斯ウ云フ實
際ノ政治的關係ヲ見セケラレマシテ、本
國人ハドンナ考ヲ起スカ、是ハヤハリ日本
ノ國務大臣トシテ笑ヒゴトデハナク、御考
ヲ願ハナケレバナラスト思フ、昨日モ滿洲
カラ内地ニ輸入スル所ノ色々ノ物ニ稅ヲ課
ケサウダ、本國ヘハ滿洲カラ高イ物ガ供給
サレ、内地カラハ滿洲ヘ安イ物ヲ供給スル、
煙草ヲ見デモ何ヲ見デモ滿洲ハ内地ヨリモ
遙ニ安イ、サウシテ景氣モ好イ、是ハ餘リ
私ハ公開ノ席デ申シタクナイガ、此ノ日滿
關係ヲ考ヘテ見マシテモ、ヤハリ御説ノ通
リニバカリハ行クマイト考ヘラレルノデア
リマス、同ジ滿洲ニ於ケル賽馬、日本ニ於
ケル競馬デ、日本ノミガ斯克モ嚴格ニ窮屈
ニ扱ハナケレバナラス、滿洲ハ開放的デ宜
シイト云フヤウナ理論ハ、私ニハ合點ガ行
カヌノデアリマス、斯ウ云フ點ヲ考ヘマス
ト、御考慮ヲ願フ餘地ガアリハシナイカト
思フノデアリマス、此ノ點ハ是以上ハ議論
ニナリマスカラ私ハ申上ゲマセヌ、次ニハ

國民ノ愛馬思想ノ涵養ニ關シテ、特ニ青少
年ノ愛馬觀念ニ關シテ御尋ラシテ見タイト
思ヒマス、或ル馬産地方ニ於テ馬ガ澤山生
産サレテ居ル、其ノ縣ノ長官ガ馬ニ甚ダ不
熱心デアアル、非難ガ起ツタ、ナニ馬ヲ作ツ
テ居ルカラ皆貧乏シテ居ルノダト言ツタト
云フ話ガアル、ソレハ言ハレテモ無理カラ
スカモ知レマセヌ、馬ヲ作ルノハ馬デアアル、
鹿ト云フ字ガ付ケバ妙ナコトニナル、サウデ
アリマスカラ其ノ馬ト鹿ノ半分ヲ持ツテ居ル
ノデアリマスカラ、是ハ餘リ褒メタコトデ
ヤナイカモ知ラヌガ、今ヤ國防上用兵作戰
ノ重大ナル兵器トシテ、之ニ國ガ全力ヲ舉
ゲテ行カナケレバナラスト云フ場合ニ於キ
マシテハ、假令馬鹿ナ時代遅レノ仕事デア
リマシテモ、吾々ハ之ヲ指導シ獎勵シテ參
ラネバナラス、然ルニ各地方ノ長官タル知
事ハ、至ツテ馬事ニ冷淡デアルコトハ、内
務大臣トシテモ御認メニナツテ居ルコトト
思フ、此ノ馬事ニ關シテモウ少シ地方長
官ヲシテ意ヲ用ヒシメ、關心ヲ持タシムル
必要ガアルト思フ、之ニ由ツテ色々ノ機會、
色々ノ機關、色々ノ方法ニ依リマシテ、全
國ノ青少年、國民全體ニ愛馬思想、馬事思
想ヲ涵養、培養セシムルコトニ、一番便利
ナル所ノ立場ニアラレルノハ内務省デアアル、

仍テ之ニ對シテ何等カノ御施設ヲ御願致シ
タイト存ズルノデアリマス
○本國務大臣 地方長官ガ、殊ニ馬産地
ノ地方長官ガ甚ダ馬ノ獎勵ニ不熱心デアアル、
是ハ内務大臣モ認メルダラウト云フ御話デ
アリマスガ、私ハ其ノ點ハ認メマセヌ、唯
サウ云フコトガアルカモ知レマセヌ、ソレ
ハ甚ダ面白クナイト思フノデアリマスガ、
殊ニ國策上今日斯ウ云フ法案モ出テ居ルヤ
ウナ時代ニ、馬産地ニ於キマスル地方長官ト
シテハ、極メテ熱心ニ此ノ仕事ニ當ラナケ
レバナラスト存ズルノデアリマス、殊ニ青
少年ノ方面ニ於キマシテノ馬事思想ノ普及
等ニハ、十分ナル力ヲ盡サナケレバナラス
ト私モ考ヘテ居リマス、唯此ノ問題ハ要ス
ルニ主トシテ馬ノコトヲ所管シテ居リマス
ル農林省ノ方デ、十分ナル施設ヲ願ハナク
テハナラス、内務省ト致シマシテハ總括的
ノ事務トシテ、十分之ニ御協力ヲシタイト
考ヘテ居リマス
○大石委員 次ニ國策ノ線ニ順應スル意味
モ多分ニ持ツテ居リマスルガ、今日日本ニ於
テ最モ困ツテ居リマスルモノノ中ノ一ツニ
數ヘラレテ居ルモノハ、燃料ノ缺乏デアリ
マス、此ノ燃料ハ有ユル手段方法ニ依ツテ
節約補給ヲ圖ツテ居ツテ、尙且ツ十分デナ

イ、此ノ意味カラ考ヘマシテモ燃料ヲ幾分
タリトモ節約ヲスル、殊ニ石油デアルトカ
「ガソリン」デアルトカ云フヤウナモノヲ節
約致シマスルコトガ、最モ國策ノ緊急ナル一
ツデアルト思フ、此ノ見地ヨリ致シマシテ、
從來農林省ガ主トシテヤツテ居ルコトデハ
ゴザイマスルケレドモ、特ニ内務系統ノ御
協力ト云フカ御施設ヲ願ヒタイト思ヒマス
ルコトハ、第一ハ役馬利用ノ普及獎勵デア
リマス、第二ハ荷馬車ノ普及獎勵デアリマ
ス、近來「トラック」ガ發達ラシマシテ近距離
小運搬デアリマシテモ、大分「トラック」ガ利
用ヲセラルルヤウニナツテ參ツタ、「トラック」
ハ申スマデモナク「ガソリン」ヲ消費致シテ
居ル、荷馬車デアリマスルト「ガソリン」ヲ
消費セヌ、サウシテ國策ノ線ニ沿ツテ所謂
馬ノ保有量ヲ増加シテ參ルノデアリマス、
普通ノ荷馬車ヲ以テ近距離及ビ小運搬等ニ
利用スルコトヲ、地方長官ニ訓令デモ出ス
トカ、或ハ長官會議ノ際ニデモ一言御話ヲ
戴キマシタラバ、餘程是ガ獎勵普及ヲ致
スダラウト思ヒマス、經濟的ニ見マシテモ
荷馬車ヲ以テ致シマスコトト「トラック」ヲ以
テ致シマスコトトハ、距離ノ遠近ニ依リマ
スケレドモ、或ル程度ノ距離デアリマスル
ナラバ、遙ニ經濟的デアアル筈デアリマス、

ソレガ今や時代ノ此ノ流行ヤリニ乗ツテ、ヤハリ「トラク」ト「トラク」ト云フヤウナ工合デ、荷馬車ガ殆ド捨テラレテ參ルト云フコトハ、此ノ燃料節約及ビ國內ニ馬ヲ或ル數保有スルト云フ點カラ見テモ、洵ニ是ハ採ラザル所デアリマス、殊ニ此ノ荷馬車ニ付キマシテ特ニ御願致シタイト申スノハ、農耕用ノ小型荷馬車ノ普及デアリマス、今日農村ノ物ノ運搬、耕地ト自宅トノ間ノ物ノ運搬、肥料デアリマシテモ、稻デアリマシテモ、苗デアリマシテモ、其ノ他色々ナル物ノ運搬ヲ見マスト、概ネ「リヤカー」ト申スモノヲ用ヒテ居リマス、元ハヨク馬ヲ用ヒテ居ツタ、近來ハ青年ガ馬ヲ用ユルコトヲ厭ヤガルセイカ「リヤカー」ダケ用ヒテ居ル「ゴム」足袋ヲ穿イテ、「ゴム」靴ヲ穿イテ「ゴム」ノ節約上是モ非常ニ困ル、段々農村ノ青年モ生活ガ向上シマシテ、近頃ハ手製ノ草鞋ナドハ穿カズ、手製ノ繩ハ絢ハズ手製ノ轡デモ、荷鞍デモ作ラズ皆總テ買ツテ居ル、オマケニ數島ヤ朝日ヲ吹カシナガラ耕シテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマス（ノー、ソレハ君ノ方ダ、僕ノ縣デハサウ云フコトハナイ）ト呼フ者アリ（アナタノ所ニハナイガ、私ノ縣ニハアリマス）宮城縣ト言ヒ給ヘ「ト呼フ者アリ」生活ノ改善

ハ、固ヨリ是ハ向上セシメナケレバナラヌ、ソレヲ敢テ咎メルモノデアリマセヌガ、寧ろ是ハ農村ノ經濟ヲ維持スルニハ、ヤハリ自足自給ト云フコトニ重キヲ置カナケレバナラヌ、其意味カラ致シマシテモ、小型ノ荷馬車ヲ利用シテ之ヲ免稅シテ農耕用ニ使ハシムル、之ヲ以テ金ヲ取ツタリ色々ナコトヲスルコトナラバ、是ハ如何カト存ジマスケレドモ、自家ノ農耕用、或ハ共同ノ農耕用、斯ウ云フモノニ使ハシテ、之ニ稅金ヲ課サスト云フコトニナリマシタナラバ、必ズ是ハ相當普及ヲ致シテ參ルト思フ、殊ニ耕地整理等ノ關係カラ相當小型荷馬車ノ利用ガ、可能性ヲ増加シテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ大臣ハ如何ニ御考ニナラレマスカ、モウ一ツハ役馬利用デアリマスガ、近來農林省ニ於キマシテハ役馬利用ヲ盛ニ獎勵シ、講師ヲ派シテ講習會ヲ開キ、或ハ實地指導ヲ致シマシテ、役馬ノ利用ヲ致シ、此ノ石油動力ヲ馬力ニ代ヘテ行ツテ、幾分デモ燃料節約ニ貢獻ヲ致シテ居ルノデアリマス、中々是ハ普及致シテ參ラスノデアリマス、馬耕ニ致シマシテモ、或ハ動力ニ代ハルモノニ致シマシテモ、農林省ノ單純ナル施設バカリデハ中々普及ガ困難デアリマス、ヤハリ是ハ内務大臣ノ御諒解ヲ得マシテ、特ニ此ノ點ニ御力添ヘテ願ハネバナラスト思フノデアリマス、此ノ二點ニ付キマシテ御尋ヲシタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今御尋ノ點ニ付キマシテハ、大體是ハ農林省ニ於キマスル馬ノ普及獎勵ト云フ政策ノ觀點カラ、研究サレルモノト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ農林省ノ方ノ案ガ出來マスレバ、内務省ト致シマシテハ相協力致シマシテ、ソレヲ十分徹底スルヤウニシタイト存ジマス、ソレカラ稅金ノコトデゴザイマスガ、此ノ事ハ私モ能ク細カイコトハマダ存ジマセヌガ、サウ云フ風ニ獎勵スベキモノデアリマスレバ、ソレハ非常ニ結構ダラウト思ヒマス、其ノ荷馬車ノ普及其ノ他ニ付テノ農林省ノ方針ニ付テモ、私ハマダ十分話合ツテ居リマセヌ、大體ソレダケノ御答デアリマス

○東委員長 内務大臣ハサウ長ク居ラレマセヌ、此ノ際關聯シテ二三ノ方ノ御質問ガアリマス——中野君ニ御許シ致シマス

○中野委員 競馬ノ入場料ノコトハ三圓デ宜カラウト云フ内務大臣ノ御話デアリマシタガ、入場料ノ低廉ト云フコトハ却テ中産以下ノ者ニ射倖心ヲ誘發スル虞ガアルノデアリマス、三圓位ナラバヤツテ見ヨウト云

フコトニナリ勝チダ、是ハドウシテモ五圓ニシナケレバナラスト思ヒマス、又内務大臣ハ今朝ノ新聞ヲ御覽ニナツタデアリマセウガ、斯様ナ賭ケ事ハ賭ケ錢ヲ安イコトニスルト非常ニ賭ケ事ガアチラニモコチラニモ流行ヤルコトニナル、アナタノ監督シテ居ル警察官ガ又博奕ヲ打ツタ、此ノ春モ愛宕署デ保安ノ刑事ト巡查十數名ガ結託シテ賭博常習犯ニ絡ンダ醜事實ガアツタコトハ、御承知デアリマセウ、昨日ハ又板橋署ノ巡查ガ賭奕ヲヤツテ、池袋署ノ刑事ニ捕ツタ、射倖行爲ガ、薄張トカ、合百トカ低イ賭ケ錢ニナルト、其ノ射倖行爲ガ社會全般ニ漲ルカラ、寧ろ是ハ五圓ト高クシタラ宜イ、却テ是ハモツト高ク六圓ニモ七圓ニモシタ方が宜イト思フ、アナタハ三圓位デ澤山ダト言フケレドモ、低クスルト、今言ツタヤウナ虞ガアル、今日兵隊ガ死ヲ決シ支那ニ行ツテ一生懸命ニナツテ居ル、滿滿ニ行ツテ一生懸命ニナツテ居ル際ニ、警察官ガ十數名結託シテ常習犯カラ金ヲ取ルト云フコトガ帝都ノ真中ニアルト云フコトハ、アナタハ何ト思フカ、不名譽デアリマセヌカ、射倖行爲ナドト云フモノハ之ヲ利用シテ宜シイ、明治三十九年カラ四十年ニ掛ケテ私ハ安東縣ニ行ツテ居ツタガ、王華成

ト云フ支那ノ苦力頭、青幫ガ來テ、安東縣ノ舊市街デ博突ヲヤツタ時ハ、アトヲ良クスル爲ニ、寺内サンガ一生懸命働イタ、此ノ時ハドン／＼苦力ガ集ツテ來テ、舊市街デ一週間ニ二度大博突ヲ打タセタ、サウシテ破壊シタ鐵道ヤ建設物、道路ノ修理ナドヤラセテ軍隊ヲ助ケテヤツタ、アナタハ射倅行爲射倅行爲ト言ツテ、大變氣ニ掛ケテ居ル反面ニ、警察官ガ醜イ事ヲシテ居ルデハアリマセヌカ、サウシテ先刻大石君ノ質問ニ對シテ今後農林省ト協力シテヤルト言フガ、既ニ協力シテ此ノ法案ヲ出シテ居ルデハアリマセヌカ、内閣總理大臣男爵平沼騏一郎、内務大臣侯爵木戸幸一、陸軍大臣板垣征四郎、大藏大臣石渡莊太郎、農林大臣櫻内幸雄、農林大臣ナド一番終ヒニ書イテアル(笑聲)寧ロ責任ハアナタニアル、ソレヲ農林省ノ方ヘバカリナスリ付ケルト云フ話ハナイ、斯ウ云フ際ハ一致協力、非常時克服ノ爲ニ出シタ法案ナノデアルカラ、是ハ普通ノ考デハ駄目デス、ヤハリ非常時克服ノ爲ニ出シタ法案ハ、非常時ノ心得ヲ以テオヤリニナラスト駄目ダラウト私ハ思フ、國防上ノ必要、有能馬ノ飼育ト云フ點ニ付テハ、ドウカ非常時ノ考ヲ以テ、此ノ法案ノ成立スルヤウニ御心掛ニナツタ方ガイ、

成立サセルカ、サセナイカハ吾々立法院ニ參與スル者ノ權利デアル、即チ立法院ノ權利デアル、アナタ方ハ行政官デアル、ソレデ警察局ノ立場、司法省ノ立場カラ、其ノヤウナケチナコトヲ言ツテ居ツテハ、非常時克服ノ爲ノ此ノ法案ノ運命ガ、ドウナルカ分リマセヌ、是非トモ是ハ五圓ニスルヤウニ政府ニ於テ修正シテ貰ヒタイ、ソレカラ見ツトモ良イコトデハアリマセヌカラ、シツカリヤツテ貰ヒタイ、木戸サンハ閣僚中デモ古參ノ方デ、前ノ近衛内閣ノ時デモ、アナタハ參謀長格ヲ務メタ偉イ方デアル、東京ノ眞中デ斯様ナ見ツトモ惡イヤウナコトノナイヤウニ御頼ミ致シマス、サウシテ此ノ時局ヲ處理シテ貰ヒタイ、之ニ對スル御考ヲ伺ヒマス

○木戸國務大臣 只今ノ競馬ノ馬券ノコトハ、先程大石サンニ御答シタコトデ大體私ノ意見ハ御諒承願ヒマス、勿論私ハ此ノ法案ガ重大ナル國策デアリ、國防上ノ必要カラ熱心ニ執行サレルモノデアルト云フコトニ付テハ、其ノ認識ニ於テ缺ケテ居ル點ハナイト、自分ハ考ヘマス、要スルニソレ等ノ點ヲ十分考慮ヲ致シマシテ、政府ト致シマシテハ只今御讀上ゲニナリマシタヤウニ、各

省デ協議致シマシタ案デアリマス、農林大臣カラノ御答辯ニモアリマス通り、馬券ニ付キマシテハ大體此ノ程度ヲ以テ、適當ナリト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ警察官ノ事ニ付テハ洵ニ御尤デアリマス、從來トモ警察官ニ付キマシテハ十分訓練モ致シ、訓練モ致シテ居ルノデアリマスガ、非常ニ多數ノ中ニ時ニ甚ダ不都合ナ者ノ出マスコトハ、甚ダ遺憾デアリマス、是等ニ付キマシテハ十分取締ヲ致シ、將來斯ノ如キコトノナイヤウニ盡力スル積リデ居リマス

○服部(英)委員 内務大臣ノ御臨席ノ際、交通行政ニ付テ一言簡單ニ御尋致シマス、私ノ尋ネントスル所ノ一部分ハ、大石君ガ尋ネテ御答辯ヲ得マシタカラ、ソレハ除外シマス、私ハ此ノ際獨リ小サイ荷馬車ノ使用強化ヲ主張スルノミナラズ、大キナ運搬用ノ馬車モ使用スル、斯ウ云フコトヲ強化シタイト思ヒマス、其ノ方法ノ一ツトシマシテ、都市ニ於テハ夜分馬ノ車力ノ運送ヲ禁止サレテ居リマス、専ラ「ガソリン」ヲ用ヒル所ノ「トラック」ニ依ツテ運搬サレテ居ツテ、夜分ハ禁止サレテ居リマスカラ、此ノ際「ガソリン」節約ノ國策ノ必要上「トラック」ヲ禁止シテ、夜ハ専ラ大型ノ馬車ニ依ツテ運搬ヲ爲ス、斯ウ云フ工合ニシテ戴キマスレバ、一方ニ於テ

「ガソリン」ノ節約ノ目的ヲ達スルト共ニ、馬飼養ノ獎勵ト云フコトニナルト思ヒマス、是ハ唯私ノ考デアルバカリデナク、實例トシテハ獨逸ガ馬匹獎勵ノ際ニ、都市内ニ於ケル夜間ノ運搬ニ付テハ「トラック」ヲ禁止シテ、専ラ牛馬ニ依ツテ運搬ヲシタト云フコトデ、大變「ガソリン」ノ節約ニナリ、馬匹ノ獎勵ニナツタト云フ實驗ヲ吾々ハ見テ居ルノデアリマスカラ、此ノ際我國ニ於テモ防共協定國デアル獨逸ニ倣ツテ、都市ノ夜間ニ於ケル運搬ハ専ラ馬力ニ依ツテセラレヤウニ考慮ヲシテ戴キタイガ、之ニ付テノ内務大臣ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○木戸國務大臣 只今ノ服部サンノ御意見ハ、私モ大體ニ於テ非常ニ此ノ馬ノ獎勵、馬匹生産保持ト云フコトニ付キマシテ、大變結構ナ御考ダト思ヒマス、唯私今マデ禁止シテ居リマス理由其ノ他ニ付テ餘リ深ク存ジマセヌノデ、十分一ツ研究シテ見タイト思ヒマス

○服部(英)委員 私ハ是デ宜シウゴザイマス

○野澤委員 大石君ノ質問ニ關聯致シマシテ、簡單ニ内務大臣カラ伺ヒタイト思ヒマス、小サナ問題デアリマスガ、實ハ省令ニ出テ居ルノデアリマシテ、荷馬車ノ車輪ノ

幅員が二寸ト云フノヲ、省令ノ改正ニ依リマシテ今度ハ三寸ト云フコトニナリマシタ、是ハ一寸馬ノ事ト關係ナイヤウニ思ヒマスガ、實ニ重大ナル關係ガアルノデアリマス、例ヘバ現在ノ車力業者ハ「トラック」業者ニ段々壓迫サレテ参リマシテ、現在ノ荷馬車業者ノ營業ノ主體地域ハ、殆下山間ノ町カ或ハ河川ノ石塊ノ中ヲ、馬ナド到底行ケサウモナイヤウナ場所ヘ行ツテハ、商賣ヲシテ居ルト云フヤウナ實情ニ在ルノデアリマシテ、馬モソレガ爲ニハ非常ナ苦痛ヲ冒シテ居ルノデアリマス、況シテサウ云フ場所ニ於テ營業ヲヤルコトニ付キマシテハ、業者ハ勿論デアリマスケレドモ、馬ニ取ツテ大キナ苦痛デアルト思ヒマス、而モ車輪ノ幅員ヲ一寸殖ヤスト云フコトニ付キマシテハ、此ノ輓引力ト云フモノハ到底吾等ノ想像以上ノモノデアルト私ハ思フノデアリマス、ソレガ省令ニ依リマシテ幅員ヲ大キクシナケレバナラスト云フノデ、業者ハ非常ニ困ツテ居リマス、其ノ爲ニ年々地方ニ於キマシテハ府縣當局ニ運動ヲ致スノデアリマスガ、是ハ内務省ノ方針デアリマスカラ、ドウスルコトモ出來ヌ、併シ其ノ地方ノ實情ニ應ジテハ内務省ノ意見ヲ徴シテ、延期スルコトヲ得ト云フコトニナツテ

居ルノデアルカラ、一應内務省ニ照會ヲシテ見テ、一年間位ノ延期ハ考慮致シマセウト云フ程度デ、今日マデ來テ居ル譯デアリマス、此ノ馬政計畫ハ御承知ノ通り産業國防兩全ヲ兼備スル馬政計畫デアリマシテ、産業上ニ於キマシテモ考慮ヲ拂ハレタル馬政計畫デアルト思フノデアリマス、左様ナ點ニ於キマシテ是ハ内務省令デドウニモナルモノデアリマスカラ、一ツ内務大臣ノ御配慮ヲ篤ト願ヒマシテ、斯ル馬匹ヲ壓迫スルヤウナ省令ハ、一日モ早く改革シテ貰ヒタイト思フノデアリマス、内務大臣ノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○木戸國務大臣 今ノ問題ハ實ハ私ハ何モ存ジマセヌ、併シ今回ノ馬政、馬産ノ計畫等ニ付キマシテハ、勿論産業上ノ見地モ考慮サレテ居ルコトデアリマス、十分一ツ御意見ノ所ハ研究致シテ見タイト思ツテ居リマス

○野澤委員 研究ヲサレルト云フコトデナク、研究ヲサレルト同時ニ一日モ早く善處ヲ御願シテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○東委員長 ソレデハ午前ハ是デ休憩致シマシテ、午後一時半カラ開會致シマス

午後零時三十分休憩

午後一時四十八分開議

○東委員長 ソレデハ是ヨリ午前ニ引續キ開會致シマス——大石君、一寸大石君ニ申上ゲマスガ、アナタノ質問ハ昨日カラズツト引續イテ居ルノデアリマスガ、外ノ人ガ大分残ツテ居リマスカラ、後ハドウカ成ベク簡單ニ御願致シマス

○大石委員 モウ一二箇所位デス、鍛鍊法及種馬統制法ノ逐條ニ付テ、森田君カラ色色質疑應答ガアリマシタガ、ソレハ省略致シマス、此ノ鍛鍊法案ノ制裁ヲ見マスト、非常ニ重キニ失スル嫌ヒガアリハシナイカト云フノデアリマス、現行競馬法ノ制裁罰則ト比較致シテ見マスト、大體同ジヤウナ程度ニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ點カラスレバ或ハ別ニ重キニ失スルヤウナコトハナイヤウナ感モ致スノデアリマスカ、併シ鍛鍊法ニ於キマシテハ競馬法ト同格、若クハソレ以上ノ嚴重ナ罰則ガ定メラレテ居リマス、此ノ一點ニ付キマシテ、當局ハ餘リニ重イト御考ニナツテ居リマセヌカ

○荷見政府委員 此ノ軍馬資源保護法案ノ規定ニ反シタル者ニ對スル處罰ノ關係ハ、大體現行ノ競馬法ノ規定等ト、相似寄ツタ同様に刑罰ガ規定シテアリマシテ、此ノ點

ニ付キマシテハ、所管ノ司法省トモ最モ慎重ニ協議ヲ致シタモノデアリマスカラ、不當ナルモノデハナイト考ヘテ居リマス

○大石委員 斯様ニ罰則ガ法案ノ半バ以上ヲ占メテ居ルト云フコトハ、餘リナイト思フノデアリマスガ、而モ斯様ナ罰則ガ網羅セラレテ居ルニ拘ラズ、騎手ニ對スル所謂競馬ニ於テ一番嫌フ所ノ八百長、此ノ八百長防止ニ關スル點ニ付テ、何等ノ規定ガ設ケラレテ居ラス、第二十六條ノ第二項ニ「團體若ハ多衆ノ威力ヲ示シ、團體若ハ多衆ヲ假裝シテ威力ヲ示シ、又ハ兇器ヲ示シ」云々ト云フ罰則ガアリマシテ、暴力團ノ取締ヲ示シテ居リマス、ダガ是ハ開催者、主催者側ニ對スル保護ノ條文デ、騎手ニ對スル保護ノ條文ガ見エマセヌ、例ヘバ馬主デアルトカ、或ハ單ニ利害ノ關係ヲ持ツタ者、若クハソレ等ノ委託ヲ受ケタル者ガ騎手ヲ脅迫シ、或ハ騎手ヲシテ眞ノ能力ヲ發揮セシメナイト云フヤウナ場合ガ、今日マデ公認競馬ニ於テモ地方競馬ニ於テモ屢、見受ケル所デアリマシテ、是ハ競馬界ノ大ナル惱ミデアリ弊害デアリマス、騎手ハ至ツテ弱者デアリマシテ、サウ云フヤウナ暴力ヲ以テ馬主若クハ利害ノ關係者ヨリ、或ハ特ニ馬カラ落チタ眞似ヲシタリ、或ハオ前ノ馬ヲ

引ツ張レノ、或ハドウシロノト云フコトハ
屢、行ハレル事實デアリマス、サウ云フ者
ニ對シテ騎手ヲ保護シテ、サウシテ此ノ神
聖ナル競走ヲ爲サシメテ、馬ノ全能力ヲ發
揮セシメル必要ガアルト思フ、其ノ規定ハ
見エナイノデアリマス、騎手ノ取締ヤ、騎
手ノ制裁ニ付キマシテハ、大體主催者ニ之
ヲ任シテ置クコトハ、是ハ當リ前デアリマ
スカラ、騎手ノ取締ハナクテモ宜シイケレ
ドモ、騎手ヲ護ツテ八百長ヲ防イデ、サウ
シテ神聖ナル競馬、所謂馬ノ全能力ヲ發揮
セシメル爲ノ必要ナル條文ガ、見當ラヌノ
デアリマス

○荷見政府委員 是ハ競馬法ニ關シマシテ
モ同様デアリマスケレドモ、騎手ノ制裁等
ニ關シマスル事項ハ、其ノ專門ノモノヲ設
ケマシタ場合ニハ、軍用保護馬鍛鍊中央會
ノ内部ノ規定ト致シマシテ設ケル積リデア
リマシテ、恰モ只今ノ日本競馬會ニ於ケル
競馬施行規定ノ如キ、同様ノ規定ノモノヲ
設ケテ取締ル積リデアリマスノデ、隨テ本
法ノ中ニハゴザイマセヌ

○大石委員 質問ノ趣旨ハ全然ソレト違フ
ノデアリマス、私ハ騎手ノ制裁トカ騎手ノ
取締ヲ申上ゲタノデアリマセヌ、騎手ノ
制裁、騎手ノ取締ハ主催者團體ガ今マデ持

ツテ居リマスシ、又將來モソレデ宜シイト思
ヒマス、或ハ騎乗停止デアルトカ、ソレノ制
裁ニ關スル從來ノ習慣アリマス、標準モアリ
マス、騎手其ノモノノ取締ハ姑クソレニ委任
シテ置イテモ宜シイケレドモ、弱イ騎手ヲ脅
迫シ、若クハ特ニ利害ヲ以テ誘惑シ、サウシ
テ其ノ當該馬ノ全能力ヲ發揮セシメナイ行
爲ガ屢々公認競馬ニモ地方競馬ニモ現ハル
ル實情デアリマス、仍テ此ノ弱イ騎手ヲ保
護シテ、若シモサウ云フ脅迫ヲシテ或ハ特
ニ馬ヲ押ヘタリ、特ニ帽子ヲ振ツタラ馬カ
ラ落ちテ、其ノ馬ノ進路ヲ妨ゲルトカ、色々
ナコトヲ爲スヤウナ行爲ヲ取締ル條文ガ
ナケレバナラスト思フ、ソレガ公認競馬法
ニモナイノガ一ツノ缺點デアルト思フ、今
新ニ定メラレントシマスル此ノ鍛鍊法ニハ、
其ノ條文ガ當然入レルベク又追テハ競馬
法ノ改正モ行ハルベキ必要ガアルデハナイ
カト思フノデアリマス、騎手ノ取締デアリ
マセヌ、騎手ヲ保護シテ神聖ナル競馬ヲ行
ハシメル爲、所謂八百長競馬ヲ防止スルノ
デアリマス、サウシテ馬ノ全能力ヲ眞ニ發
揮セシムル競馬ニセネバナラス、サウ云フ
意味ノ質問デアリマス

○荷見政府委員 只今御話ノヤウナ規定ニ
對シマシテハ、是ハ公認競馬ノ場合モ同様

デアルト考ヘルノデアリマスガ、公認競馬
ノ方ニ於キマシテモ、現在斯様ナ規定ガナ
クトモ、別段差支ナク執行セラレテ居ルノ
デアリマスルカラ、況ヤ鍛鍊馬競走ノヤウナ
尙ホ範圍ノ小ナルモノニ付キマシテハ、公
認競馬ヨリモ其ノ點ヲ心配シテ取扱フ必要
ハナイト、斯ウ云フ風ナ考ヲ持つテ居ルノ
デアリマス

○服部(岩)委員 一寸關聯シテ——只今ノ
大石君ノ質問ハ、所謂騎手ヲ外部カラ不正
ナル行爲ヲサス爲ニ脅迫スル、此ノ外部カ
ラ脅迫シタ者ヲ處分スル規定ガ、缺如サレ
テ居ルデヤナイカ、寧ロ騎手ヲシテ公正ナ
ル任務ヲ全ウセシムルニハ、外部カラ脅迫
スル者ヲ處罰スル規定ガナケレバナラス、
ダカラ第二十六條ニハサウ云フ騎手ヲ脅迫
スルモノヲ包含シテ居ルカドウカ、斯ウ云
フ質問ダト考ヘマス、私モ其ノ點ヲ質問致
シタイト考ヘテ居ツタノデアリマス、改メ
テ御答辯ヲ願ヒマス

○荷見政府委員 御尋ノ趣旨ハ能ク諒解致
シマスノデスガ、二十六條ハ是ハ鍛鍊馬競
走ノ施行委員ニ關スル規定デゴザイマスカ
ラ、只今ノ御尋ノ趣旨ハ包含致シテ居リマ
セヌ、尙ホ此ノ規定ガアリマセヌデモ、斯
ル行爲ニ依ツテ鍛鍊馬競走ガ支障ヲ受ケル

場合ハ、是マデノ經驗ニ依ツテナイモノト、
斯ウ云フ風ナ考デ競馬會ノ方ノ規定モ、別
ニ其ノ規定ヲ設ケテ居リマセヌノデ、コチ
ヲノ方ノ場合ニ於キマシテモ、同様ニ設ケ
ナカツタト云フコトヲ御答辯致シテ置キマ
ス

○服部(岩)委員 重ネテ御意見ヲ承リタイ
ト思ヒマス、當局ニ於テハ騎手ヲシテ公正
ナル行動ニ出デシメル爲ニ外部カラノ脅迫
者ニ對シテ嚴重ナル處分ヲスル規定ガ必要
ダト考ヘラレル、今日ノ公認競馬ニ於キマ
シテモ、今日マデノ地方競馬ニ於キマシテ
モ、外部カラ騎手が脅迫サレテ、サウシテ
不正ナル所ノ已ムヲ得ザル行動ニ出ナケレ
バナラス事ガ度々アリマシタ、隨テ馬ノ性
能ヲ十二分ニ發揮スルコトガ出來ナイデ、
競馬ノ根本趣旨ニ反シタ競技ヲシナケレバ
ナラスト云フコトニナリマスレバ、所謂馬
ノ資質ノ向上デアルトカ、或ハ競馬ノ目的
ヲ達成スルコトガ出來ナイ、斯様ニ考ヘル
ノデアリマス、隨テ此ノ點ハ特ニ斯ウ云フ
法規ヲ新シク設ケル時ニハ、取締法規ヲ入
レルコトガ、私ハ最善ノ方法ト考ヘルノデ
アリマス、此ノ點ニ付キマシテ改メテ、サ
ウ云フ意思ガアルカナイカト云フコトヲ御
尋申上ゲマス

○荷見政府委員 只今ノ御話ハ御尤ノヤウニモ伺フノデアリマスガ、傍カラ騎手ヲ脅迫シタ者ニ對シマシテ、之ヲ特ニ過重シテ或ハ輕減シテ、競馬法ニ依ツテ取締ラスル競馬法ノ規定ガ設ケテゴザイマセヌ、ソレト同様ニ、此ノ鍛鍊馬競走ニ於キマシテモ、斯ル不正ノ行爲ニ付キマシテハ、ソレハ一般刑法ノ處罰ニ委任シテ宜シモノト、斯様ニ私共ハ考ヘテ居リマス

○大石委員 只今ノ御答辯ハ、其ノ必要ハ御認メニナツテ居ルト云フコトニ解釋ヲ致シテ宜シノデアリマセウカ、或ハサウ云フ場合ガ全然ナイ、又或ハ假ニアツタトシテモ、此ノ特別法ニ於テハソレヲ不問ニ付ス、斯ウ云フ意味ニナルノデアリマスカ

○荷見政府委員 ソレハ此ノ軍馬資源保護法ニ依リマシテ、特別ニ競馬法ニ其ノ取締ヲ過重或ハ輕減シテ規定致シマセヌデモ、一般刑法ノ規定ニ任セマシテ差支ナイ、隨テ此ノ法規ニ斯様ナモノヲ設ケル必要ナシ、斯様ナ見解ヲ持ツテ居ル譯デアリマス

○大石委員 ドウモ御答辯ガ甚ダ其ノ當ヲ得ナイ、不徹底ノヤウニ思ヒマス、苟モ茲ニ新シキ特別法ヲ今制定セラレントスル時ニ當ツテ、直接其ノ事柄ニ依ツテ起ル所ノ犯罪事項ヲ、一般刑法ニ委任スルト云フナ

ラバ、此ノ第二十六條ノ罰則ノ如キ、又競馬法ノ第三十四條ノ罰則ノ如キモ、ヤハリ一般刑法ニ依ツテ處罰ガ出來得ルノデアリマスカラ、ソレニ委任シテ宜イヤウニナル筈デアリマス、併シ苟モ特別法ヲ制定致シマシテ、其ノ法ノ目的トスル所ノ事柄ニ關シテ、直接起ルサウ云フ事柄ハ、ヤハリ特別法中ニ規定スベキモノデハナイカト思フノデアリマス、若シ今後修正ノ動議ガ起ラントモ限ラスノデアリマスガ、サウ云フ風ニ固執セラレテ居リマス、其ノ餘裕モナクナルヤウナ虞モアリマス、今日マデ競馬法ニ此ノ規定ガナカツタコトハ、一ツノ缺陷デアルト思ヒマス、公認競馬ハ決シテ騎手ニサウ云フ請託ヲ爲シタリ、或ハ外部ノ力ヲ以テ抑壓シタリ、或ハ或力ヲ加ヘテ脅迫ヲシタ例ナシトハセヌノデアリマス、今日マデ公認競馬ニ於テ一番惱シデ居ルノハ何デアリマスカ、繫駕競走デアリマス、此ノ繫駕競走ト云フモノハ多クハ八百長ガ行ハレ、其ノ八百長ノ防止ニ苦シデ居ルノデアリマス、其ノ所以ハ八百長ヲ爲サシメル所ノ蔭ノ力、側面ノ力ヲ罰スル規定ガ無いコトニ附ケ込マレテ居ル、一般刑法ハ其ノ事

件ノ度毎ニ決シテ發動シテ居ラスノデアリマス、ヤハリ是ハ特別法ニ明記シテ置クベキ性質ノモノデアリ、又規定シテ置カナケレバナラスモノデアル、競馬法ニ無イカラ、本法ニモ規定シナイト云フコトデハ、少シモ茲ニ第三十六條ヲ設ケタ理由ニナラスト思ヒマス、寧ロ私ハ進ンデ競馬法ニ此ノ規定ヲ挿入スルヤウニ、改正セラルベキモノデアラウト思フノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、如何デアリマセウカ

○荷見政府委員 只今第二十六條ノ規定モ左様ナラバ必要ハナイデハナイカト云フ御尋ガ一部アツタヤウデアリマス、是ハ施行委員ノ方ノ職務執行ノ妨害ト云フコトニ付キマシテハ、特ニ從來モ其ノ例ガアリマシテ、必要ガアツテ此ノ特別法ニ持ツテ來テ、規定ヲ致シタノデアリマス、騎手ノ脅迫ト云フヤウナ關係ノ爲ニ、明白ニ競馬ノ施行ニ支障ヲ起シタト云フヤウナコトハ、是マデ無いノデアリマシテ、騎手ノ保護ト云フコトニ付テハ、或ハ騎手ノ報酬ノ問題デアルトカ、共濟制度ノ實行デアルトカ、各般ノ方面ニ依ツテ、内部的ニ保護スルノガ必要デアルト思ヒマスガ、其ノ他ノ程度ノモノハ普通刑法ニ委任シテ宜カラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○大石委員 ドウモ是ハ押問答ニナリマス

ガ、今マデノ競馬ニ騎手ヲ脅迫シタ例ガ現ハレテ來ナイ、ソレデアルカラサウ云フ規定ヲ設ケル必要ガナイト云フ御意見デアリマスガ、ソレハ大イニ違ツテ居ルト思フ、競馬法ト云フ特別法ニサウ云フ規定ガアリマセヌ、所ガ實際ナイカト云フト實際アルノデアリマス、實際アルケレドモ、規定ガ無イカラ表面ニ現ハレテ來ナイ、御話ノ如ク之ヲ一般刑法ニ委セテ置クト云フガ、ソレナラ一般刑法ノ發動ガアルカト云フト、斯ウ云フ特別法ノアルモノハ、サウ始終一般刑法ガ發動シテ居ラスノデアリマシテ、特別法ノ效力ト云フモノハ無クナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ立法ノ精神、建前ト云フコトヲ考ヘマシタナラバ、決シテ是ハ一般刑法ニ委セテ置クト云フヤウナコトハ、是ハ少シ御答辯トシテハ——殊ニ穩健中正ナル長官ノ御答辯トシテハ、少々牽強附會ノ嫌ヒガアルヤウニ思ヒマス、モウ少シ寛大ナル襟度ヲ御示シナツテ、成程其ノ事情ガハツキリシマシタナラバ其ノ時ニ改正スルトカ、或ハ其ノ必要ハ認メルケレドモ、今ソレハ大ナル弊害ガナカラウ位ノ御答辯ナラバ、又勘辯シマスケレドモ、ドウモサウ云フ風ニ牽強附會ナ、飽クマデモ

原案ヲ維持シナケレバ體面ヲ汚スト云フヤ

ウナ態度ハ、餘リ褒メタモノデナイト思ヒマス

○小串委員 一寸今ノコトニ關聯シテ一言申上ゲタイト思ヒマス、先刻來カラ大石サンノ質問デ論争シテ居リマス問題ハ、私モ大石サント同ジ意見ヲ持ツテ居リマス、一體特別法ニ規定サレテ居ルモノハ、此ノ競馬開催ノ關係者ノ者ニ付テ規定サレテ居ツテ、外部ノ者ニ對スル規定ハ刑法其ノ他ニ依ツテ保護スル、斯ウ云フノデアリマセウカ、此ノ第二十六條ノ鍛鍊馬競走ノ施行委員以外ノ職員ノ職務モ皆包含スルコトハ當然ダト思ヒマス、今大石サンノ指摘サレタコトハ全クノ事實デアツテ、單ニ繫駕競走バカリデハナイ、競馬ニ於ケル最モ大ナル弊害ト云フモノハ、私ハ公認競馬デモ澤山知ツテ居リマス、現ニ横濱デアノ重大ナル除名ヲ喰ツタ騎手ナドモアリマスケレドモ、非常ナ或ル外部カラノ力ニ依ツテ騎手ヲ操縦スル、或ハ騎手ナドガ「グルーブ」ヲ作ツテ狡イコトヲスル場合モアリマスガ、是ハ内部的法規デ取締ラレルケレドモ、外部ノ力ニ依ツテ騎手ノ正當ナ職務ノ行使ヲ爲サシメナイコトガアル、サウデナクテモ詰リ駄足競走デモ實際二三頭位デ走ル時ハ屢、サウ云フコトガアル、或ル優秀ナ馬ノ騎手ヲ

特ニ脅カシテ、ヒョウト出損ナツタリシテ負ケテシマフ、サウスルト二百圓ノ穴ガ出ルト云フヤウナコトガ實際ニ行ハレテ居ル、而モ二十六條デ斯ウ云フコトヲ規定シテ居ルノデスカラ、之ヲ一寸範圍ヲ擴ダレバ、此處デ皆サン贊成ノ多イヤウナ議論ガ成立ツノデスカラ、是ハ一ツ能ク御考ニナツテ、此ノ案ヲ完成スル爲ニ、私ハ當局ノ方デモ御一考ヲ願フベキ問題デアラウト考ヘテ居リマス、質問ト云フノデスカ、私ハサウ云フ意見ヲ申上ゲテ置キマス

○大石委員 モウ一ツ種馬統制法ニ付テ御伺致シマス、種馬統制法ノ罰則モ同様重キニ失スル嫌ヒガアルト思フノデアリマス、ソレハ統制法實施ニ伴ウテ廢止セラルベキ現行ノ種牡馬検査法ニ依リマス、第七條ニ「検査ニ合格セサル牡馬又ハ證明ノ效力ヲ失ヒ若ハ停止セラレタル種牡馬ヲ種付ケニ使用シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス」トアリマス、新法ニ依リマスルト、「五百圓以下ノ罰金ニ處ス」トナツテ居リマスカラ、現行法ノ八倍以上ノ金額ニ一舉ニシテ變化スルノデアリマス、此ノ一例ヲ見マシテモ、此ノ統制法ニ規定セラレタル罰則ハ、餘リニモ重キニ失スル嫌ヒガアリハシナイカ、斯様ニ考ヘラレマス、一舉ニ八

倍以上ト云フノハ掛値ガ強過ギルト思フ

○荷見政府委員 御話ノ通り種牡馬検査法ノ罰則ヨリ、今回ノ種馬統制法ノ罰則ノ中、種牡馬ニアラザル馬ヲ種付ニ供用シタル者ニ對スル刑罰ハ重クナツテ居リマス、ト申シマスノハ、種牡馬検査法ノトキニハ、大體建前ガ牡馬ハ此ノ法律ニ依ツテ検査ヲ受ケ、合格シタルモノニアラザレバ種付ニ使用スルコトヲ得ズト云フ風ナ程度デアリマシテ、餘程自由ヲ認メテ居ツタ規定ナノデアリマスガ、種馬統制法ニ於キマシテハ、馬ノ重要性ニ鑑ミマシテ、殊ニ馬ノ生産ノ重要性ニ鑑ミマシテ、種牡馬ノ國有ヲ致ストカ、或ハ種付ノ統制ヲ致ストカ云フコトヲ重點ニ置イタノデアリマスカラ、隨テ之ニ對スル違反ノ者ニ對シマシテモ、嚴重ナ處罰規定ヲ以テ違反ヲ防止スル方ガ、適當ナリト考ヘタノデアリマシテ、尙ホ種牡馬検査法ハ明治三十年ニ制定致サレマシタモノデアリマシテ、モウ四五十年モ前ノ時ノ經濟狀態貨幣價值ト云フ風ナモノト、現在ノ經濟狀態貨幣價值ト云フモノヲ御考ニナリマスレバ、サウ御話ノヤウニ突飛ナ刑罰ノ量定デハナカラウ、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス

○大石委員 併シ罰金ダケデアリマセヌ、此ノ新法ノ第二十六條ニハ六箇月以下ノ懲

役ト云フノマデ入ツテ居ル、是ハ貨幣價值ヲ以テ懲役ハ比較ガ出來マセヌ、現在ノ検査法ニハ、本當ノ罰金ト科料刑ダケデアリマシテ、體刑ハナイノデアリマス、ソレガ六箇月以下ノ體刑オ負ケニ罰金ニナリマス、科料ダケデナクナツテ罰金ハ八倍ニ殖エマス、成程御話ノ如ク明治三十年當時ニ於ケル貨幣價值ト、今日ノ貨幣價值トハ餘程違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、此ノ種牡馬検査法ハ明治三十二年ニ改正セラレ、更ニ大正十二年三月ニ改正セラレテ居ルノデアリマス、其ノ改正ノトキニ於テ貨幣價值ノ變化ヲ御認メニナラナカツタノカ、貨幣價值ガ變化セズト御信ジニナツタノカ、吾々ハ大正十二年ニ於テハ明治三十二年ニ比較シテ餘程貨幣價值ガ變化シテ居ルト思フ、其ノ時ニ於テ改正ヲ行ハナイノデアリマスカラ、本法ハ大正十二年現在ノモノト見テ行キマス、餘リニ差ガ強過ギルデヤナイカ、妙ナ譬デアリマスケレドモ、ソレ程經濟界ノ貨幣價值ノ變動ヲ考慮セラレルナラバ、農林省馬政局ガ所謂投票馬券ノ金額一圓ヲ三圓トスルノデスラモ、中々容易デナカツタ程デアリマスガ、斯ウ云フ點ニ付テノミ斯様ニ大變化ヲ御認メニナルノカ、少シモ理論ガ合ハヌヤウニ思ヒマス

○荷見政府委員 ソレハ只今申上デマシタヤウニ、貨幣價值ノ問題ハ附加ヘテ申上デタノデアリマスガ、大體法ノ建前ガ、今回ノ取締ハ此ノ種牡馬検査法ノ時ノ取締ヨリモ、重要性ヲ増シテ居ルト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ只今附加ヘテ御話ニナツタコトデ、是ハ御答辯申上デナイデ然ルベキカト思ヒマスガ、地方競馬ノ方ハ昭和二年ノ制定デゴザイマシテ、ソレカラ只今三倍ニナシテ居ルノデスカラ、物價ノ關係ナドモ相當考慮シタコトト御諒承願ヒマス

○大石委員 陸軍大臣ハ御出席ナイサウデスカラ、若シ適當ナ機會ガアリマシトラ、陸軍大臣ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、本日陸軍ニ關シテ簡單ニ價格ノ問題ニ付キ御尋シテ、私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス、陸軍ニ於ケル軍馬購買價格ハ、近來増額ヲシテ戴イテ居リマスルコトハ承知致シテ居リマス、私ハ本會議ニ於テ其ノ育成馬ノ相當價格ノ引上ヲ要望致シタノデアリマスガ、育成馬ト申シマシテモ、三歳四歳ハ生産者ノ手ヲ離レテカラ陸軍ガ御買上ニナリマス、二歳ハ直接生産者ノ手カラ陸軍ガ御買上ニナル、併シ九州ハ是ハ例外デアリマス、此ノ二歳ノ育成馬、或ハ三歳四歳ノ育成馬ヲ

モツト多クシテ戴ク、殊ニ二歳ノ育成馬ヲ擴張シテ戴キタイ、是ハ生産獎勵ノ上ニ於キマシテモ、非常ナ關係ヲ持ツノデアリマス、現在ノ軍馬補充部ノ育成機關ハ、殆ド極端ナ軍縮時代ノ其ノ儘ノモノニナツテ居ツテ、其ノ後幾分擴張セラレマシタケレドモ、嘗テ軍縮前ニ於ケルモノニモ及バヌト云フコトニナツテ居ル、其ノ當時ヨリモ更ニ一層軍馬ノ資源培養及ビ軍馬ノ必要性ヲ増加シテ居ル時ニ於キマシテハ、軍トセラレテハ其ノ育成馬ヲ更ニ大擴張ヲセラレ、隨テ相當ノ價格ノ引上ヲ行ツテ戴クコトガ、我國馬産ノ獎勵並ニ國內保有馬ノ増加ノ上ニ益スル所ガアルト思フ、昨日農林大臣ヨリ新馬政方針ニ付テ國防産業併進ノ御意見ヲ承リ、自分等モ、左様ニ存ジテ居リマスガ、現在及ビ近キト云フヨリモ、餘程ノ遠キ將來マデ、我國ニ於ケル馬政ノ建前ハ、恐ラク國防ヲ第一主義トシテ行カネバナラス時局ニ際會シテ居ルト思フ、斯様ナ際ニ於ケル陸軍省ノ豫算ハ、現大臣、兵務局長及ビ軍當局ノ方々ノ非常ナル御理解ト御盡力ニ依リマシテ數倍致シ、隨テ購買價格ノ増加其ノ他モ行ハレ、又在郷軍馬或ハ優良馬ノ保護助成等、色々御施設ヲ下サルコトニナリマシタコトハ、吾々ノ齊シク認

メテ、感謝シテ居ル所デアリマスルケレドモ、尙ホ今日ノ儘デハ、十分ナリト私共ハ見ルコトハ出來ナイノデアリマス、若シ馬ガ單純ナル、産業生産事業デアリマスナラバ、國家ハ是レ程力ヲ入レル必要モナク、在來種ヲ斯程力ヲ入レテ改良スル必要モナカッタケレドモ、國防ト云フ重大ナル使命ガアレバこそ、是ガ伴フノデアリマス、此ノ秋ニ於キマシテ陸軍トシテハ此ノ生キタル兵器、資源ヲ培養シ、又有事ノ日ニ十分役立テルト云フ意味ニ於キマシテハ、今日ノ豫算ヲ以テハ満足ハ出來ナイ、モツト、此ノ資源ノ培養等ニ御力ヲ入レテ戴キタイ、殊ニ戰地ニ於ケル馬ノ能力ノ檢定ヲ聞キマシテモ、育成馬デアリマシタナラバ成育管理モ容易デアリ、又乗御使役ニモ容易デアリ、能力モ相當ニ保ツテ參リマシテ、到底支那馬ヤ滿洲馬ハ勿論ノコト、徵發馬ヤ購買馬ノ遠ク及バザル所デアツタ、併シナガラ軍ノ財政ノ御都合カラ、此ノ育成馬ヲ擴張スルコトガ出來ナイデ居ラレタノデアリマセウケレドモ、今日軍馬ノ必要ナルコトハ天下之ヲ認メザル者ハナイノデアリマスカラ、斯様ナ秋ニ方リマシテハ陸軍ハ他ノ兵器ニ優ルトモ劣ラザル程度ノ御奮發ヲ以テ、豫算ヲ取ツテ戴イテ、育成馬ノ擴

張、價格ノ引上等ヲ願ヒタイ、殊ニ又徵發馬ノ價格ニ付キマシテモ段々徵發馬ガ高クナツテ——是ハ已ムヲ得ナイノデアリマス、或ル場所ニ於キマシテハ一回徵發ヲセラレ其ノ補充馬ヲ買ツテ來マス、又ソレガ徵發セラレ又補充ヲシマス、又徵發ヲサレル、三回四回ニ互ツテ居ル、是ハ已ムヲ得ザル軍事上ノ關係デアリマセウ、所ガ第一番ニハ最初二百圓位デ買ツテ置キマシタノガ、二百五十圓トカ二百八十圓ト云フヤウナ値段ヲ以テ徵發セラレマシタ、所ガ其ノ次ニ補充スル時ニハモウ其ノ買上ニナツタ價格ヲ超ユルトモ其ノ以內デ買フコトハ出來ナイ、假ニ買上價格ヲ以テ買ツタトシマスルト、又今度ハ二十圓カ三十圓豫算ガ増額サレテ三百十圓カ二十圓デ多少ノ利益ガアリマス、所ガズツト馬ノ値段ガ高クナルト、今度補究シヨウト思フ時ハ三百二十圓三十圓デハ補充出來ナイ、ヤハリ三百五十圓トカ八十圓デ補充スル、ソレガ今度徵發サレル時ニハ三百二十圓カ五十圓デ徵發サレル、斯ウ云フコトニナツテ參リマス、サウ云フ實例ガ各地ニ於テアルノデアリマス、又軍馬購買ニ當リマシテモ、目ボシイ馬ハ四百圓或ハ四百五十圓デ買ヒマシタモノデモ、ソレガ三百八十圓或ハ四百圓ト云フヤウ

ナ、出シタ値段ヨリモ安イ價格ヲ以テ購買ヲ要求サレ、御國ノ爲ニ嫌ヤトハ申サレマセヌカラ、ソレニ應ジテ行クト云フヤウナコトハ、最近宮城縣ニモ實例ガアツタノデアリマス、斯様ナコトデアリマスルト、結局馬ガ牛ニ變ツテ行ク、折角ノ育成地モ斯ウ度々馬ヲ徵發セラレ、而モ買上ニナツタ金ヲ以テハ補充ガ出來ナイトスレバ、牛ノ方ガ面倒ガナクテ宜シイト云フヤウナコトガナイトモ限ラス、斯様ナ點等モ能ク御考慮戴キタイ、又驛場ニ於ケル軍馬ノ購買ニ付キマシテハ、他ニ小笠原委員等カラ御質問モアリマセウト思ヒマスノデ、其ノ點マデハ觸レナイコトニ致シマスガ、大體現在ノ馬ニ對スル陸軍ノ豫算ハ折角御折下サレテ、殆ド十倍ニモ増加致シテ居リマスケレドモ、尙ホ私共カラ見テハ十分ナリト思ハヌノデアリマス、ドウゾ此ノ點ニ付テ陸軍ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○要林説明員 只今ノ大石委員ノ御質問ニ對シマシテハ、大臣及ビ政府委員カラ御説明ヲ申上ゲルノガ至當ト思ヒマスガ、不在ノ爲メ便宜私カラ御答申上ゲマス、幼駒ノ購買數ノ増加ニ付キマシテハ、本會議ノ席上ニ於キマシテ大臣カラモ答辯ガアリマシタノデ、此處デハ重複ヲ避ケマシテ御説明

ヲ省略致シマス、尙ホ軍馬補充部ヲ増設シテハドウカト云フヤウナ御趣旨ニ拜聽致シタノデアリマスガ、是ハ現在ノ陸軍全般ノ豫算カラ考ヘマシテ、緊急施設スベキ事項ガ多々アリマスノデ、軍馬補充部ノ増加ト云フヤウナコトハ、簡單ニ參ラナイト考ヘテ居リマス、次ハ購買價格ノ引上デアリマスガ、是モ本會議ニ於キマシテ大臣カラ説明ガアリマシタノデ、重複ヲ避ケルノデアリマスガ、尙ホ若干數字のノ事ニ付テ御説明申上ゲマスルト、軍馬ノ購買價格ハ大體ニ於テ生産費等モ考ヘ、全般ノ豫算カラ考ヘマシテ、生産家ニ決シテ御無理ノ行カナイヤウ考慮致シマシテ、適正ナル値段ヲ取ツテ參ツテ居ルノデアリマスガ、最近ニ於ケル所ノ購買價格ハ段々ト引上ゲラレテ參リマシテ、大體ニ於テ民間當業者側ノ御満足ヲ得ツツアルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ昭和四年度ニ於キマシテ幼駒ノ購買平均價格ハ三百二十四圓デアリマシテ此ノ際ニ於キマシテ一般地方馬ノ値段ハ稍、低イ、即チ百圓程ソレヨリ低カツタノデアリマス、最近ニ於ケル所ノ五箇年間ノ經過ヲ見マスルト、昭和九年度ノ二百五十八圓カラ昭和十三年度ノ三百八十圓ニ至ルマデ、逐次累増ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ

馬匹ノ豫算ニ關シマシテハ斯ノ如ク段々ト殖エテ參リマシテ、大體ニ於テ御満足ガ行ツテ居ルノデハナイカト考ヘマスガ、尙ホ私共ト致シマシテハ、生産者ノ御期待ニ背カナイヤウニ努力ヲ致ス考デアリマス、先般來馬政局方面カラ種々御答ガアリマシタ通り、此ノ軍馬ノ購買價格モ一般ノ馬ノ價格同様、非常ニ取引ノ改善ヲ要シマスル關係カラ、兩省ノ間ニ緊密ナ連絡ヲ執リマシテ、適正ナル價格ヲ定メル爲メ審議會ト云フヤウナモノヲ設ケラレマシテ、ソレニ基キマスレバ御満足ノ行クヤウナ購買値段ニナルト考ヘテ居ル次第デアリマス、次ハ陸軍ニ關スル御要求トハ少シ別ダト思ヒマスガ、馬政全般ノ豫算ニ對シテ、大イニ陸軍トシテ力ヲ入レナケレバナラスト言ハレマシタノニ對シテモ、是ハ本會議ノ席上ニ於テ陸軍大臣カラ御答辯致シテアリマスノデ、申上ゲルマデモナイコトト思ヒマスガ、陸軍ト致シマシテハ陸軍自體ノ軍事實費デ賄ヒ得ル限りハ、之ガ増加ニ努メテ居ルノデアリマスガ、又馬政局管掌事項デアアル所ノ馬政直接ノ經費ノ増加ニ關シマシテモ、出來得ル限り直接間接ニ御協力ヲ申上ゲテ、其ノ成立ニ努力致シテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ今回提案ニナリマシタ此ノ兩法案モ、莫大ナル經費

ヲ要シマスルガ、是等ガ成立致シマシタナラバ、御期待ニ背カナイヤウニ相成ルコトト存ジマス、徵發ノコトニ付キマシテ、徵發價格ガ適正ナラズシテ、代馬購入費ニ對シテ非常ナ無理ガイツタト云フヤウナ御話ガアリマシタ、是ハ洵ニ御氣ノ毒ナ話デアリマシテ、私共ト致シマシテハ斯ウ云フヤウナコトノナイヤウニ、極力努力ヲ致シテ參ツテ居ルノデアリマスガ、何シロ事變發生以來、馬ノ値段ハ暴騰ニ暴騰ヲ重ネマシテ、之ニ伴フ所ノ豫算ガ少額デアアル爲メ代馬ノ購入等ニ於テ相當差支ガアツタト云フヤウナ御話モ、チヨイ／＼承リマスガ、併シ大體ニ於キマシテハ左程無理ノ行カナイヤウニ、又國民ノ非常ナ愛國心ニ依リマシテ、滞リナク徵發ガイツテ居ルノデアリマス

○大石委員 價格ノ數字ヲ御示シ下サイマシタガ、尙ホ此ノ徵發馬ノコトニ付キマシテ、購買馬及ビ幼駒購買ノ場合ニ於キマシテモ、三百二十四圓ト云フ幼駒ノ値段ハ、市價ヨリモ百圓高イト云フ話デアリマスガ、昨年北海道ノ大樂毛ニ於ケル平均價格ハ、優良馬モ劣等馬モ牝馬モ合シテ、三百圓ヲ超シタ平均ニナツテ居リマス、私ノ宮城縣ノ方ハ輕種系ノ關係カラ、非常ニ人氣ガ落チマシテ、輕種ノ値段ガ下リマシタ、

一昨年ニ比較致シマス、一頭三十何圓モ平均價格ガ下落シテ居ルノデアリマス、ソレデモ尙ホ二百七十圓バカリノ價格ニナツテ居ツタト記憶シテ居リマス、ソレ等ニ比較致シマスルト、軍馬トシテ選リニ選ツテ御買下サル馬トシテハ、決シテ高イモノトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、尙ホ此ノ點御考ヲ願ヒマス、私ハ大體之ヲ以テ質問ヲ終リマス

○東委員長 中野君ニ御相談シマスガ、遠山君ガ一寸之ニ關聯事項デ極ク簡單ダウデスガ……

○中野委員 宜シウゴザイマス

○遠山委員 私ハ只今御説明ニナリマシタ軍馬ノ購入ニ對シマシテ、其ノ御取扱ニ付テ御伺ヲ致シタイト存ズルノデアリマス、價格ノコトニ付キマシテハ過日農林大臣ノ御説明モアリ、又只今詳細ニ承ツタノデ承知ヲ致シマシタガ、此ノ購買ノ場合ニ候補馬ヲソレト農家カラ引出シ、サウシテソレゾレ見立テヲシテ買上ヲナサルノデアリマスガ、其ノ場合ニ於テ其ノ價格ガドウモ畜主ノ胸ニ落ちナイヤウナ場合ガアルノデアリマス、サウ云フコトデ實情ミト申シマセウカ、色々後先キノ事情ガアル爲ニ、價格折合ノ場合ニ於キマシテ其ノ御當局ノ扱

ヒニ於テ、是等ハ非國民ナリト云フヤウナ言葉ヲ浴セラレル、ソレハ私ガ見タリ聞イタリ致シタ實際ノコトデアリマスルケレドモ、一面畜主ノ方ノ側カラ行キマス、一家ノ家族ノ中デ倅ハ事變ニ因ツテ召集サレテ居ル、普通ノ勞力ニ於テ既ニ缺ケテ居ルノデアリマス、然ルニ今度ハ其ノ候補馬ヲ買上ニナル、斯ウ云フ場合ニ其ノ値段ガ折合ハナイ、是モ澤山ニアル家ノ馬デアリマス、モウ價格ヲ付ケテオ貰ヒスルダケデ非常ニ喜ンデ、馬ガ國家ノ才役ニ立ツト云フノデ、オ祝ヒヲシテ馬ヲ送り出スト云フヤウナ狀態ニナツテ居リマスケレドモ

〔委員長退席、大石委員長代理著席〕
只今私ノ申上ゲル點ハ、徵兵ノ爲ニ召集サレテ手不足デアル所ニ、平素耕馬ニ使ツテ居リマスル所ノ數ノ少イ馬ヲ徵集サレルト云フコトデアリマスガ、畜主ニ於キマシテハ後ノ買入ヲシナケレバナラス、其ノ場合ニ買入ヲスル希望ノ價格ト、御示ニナツタ價格トノ間ニ差ガ出來テ居ルノデアリマス、ソレヲ澁ルト云フト、今申上ゲタ如ク、ドウモ御扱ガ先ヅ苛酷ト言ツテ宜イ御扱ヲナサレテ、外ニ來テ居ル者ニ御示シナル、ソシナコトハモウ誰ニモ言ハレスト云フヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、ソコ

デ御取扱ニ付テ只今私が申上ゲマシタ如ク、馬ガ澤山アル家デアリマスルト、喜ンデ賣ルノデアアルガ、一頭、二頭ト云フヤウナモノデ、自己ノ耕馬ニ使ツテ居ルモノヲ引上ゲラレルト、其ノヤウナ悲惨ナ狀態ニナルノデアリマス、之ニ付テ當局ハソレ等ヲ御調査ノ上デ、御買上ノ何カノ標準、順序ガアリマスカ、ドウデアリマスカ、御伺ヲ致シタイノデアリマス

○栗林説明員 只今軍馬購買上ニ於キマシテ、購買値段ガ畜主トノ間ニ於テ折合ガ付カナカツタ場合ハ、非國民ト云フヤウナコトマデ呼ハツテ殆ド脅喝的ニデモ買上ゲルガ如ク拜聽致シタノデアリマスガ、或ハ多クノ購買若クハ徵發等ニ於テ、サウ云フ事實ガアツタカトモ思ヒマスルガ、併シハ元來事變發生前マデノ購買等ニ於キマシテハ、御承知ノ通り軍馬ノ購買ト云フモノハ、地方一般ノ馬ノ賣買ヨリモ高價ニ購買サレテ居リマシテ、民間當業者ハ喜ンデ此ノ軍馬ノ購買ニ應ジテ居ツタノデアリマス、然ルニ事變發生以來、先程モ申シマシタ通り軍馬ノ購買値段ト云フモノガ、或ハ徵發値段ト云フモノガ法外ニ高く相成リマシテ、之ガ爲ニ軍ニ於キマシテハ、此ノ重大時局ニ軍馬ノ充足上非常ナ困難ニ立ツタノデ

アリマス、隨ヒマシテ此ノ軍馬購買若クハ徵發ノ第一線ニ立ツテ居リマス者ハ、軍馬ノ充足ト云フコトニ熱心ノ餘リ、割當テラレタル豫算ノ範圍内ニ於テ馬ノ充足ノ出來ナカツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、或ル程度焦燥ノ氣分ガアリマシテ、只今御叱言ノアリマシタヤウナ事態モ、或ハアツタカト考ヘマス、併シ全般ニ於キマシテハ其ノヤウナコトハ、嚴ニ戒飭ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、現ニ軍馬補充部等ニ於キマシテモ、屢々通牒ヲ發シテ、決シテ民意ヲ蹂躪シテマデモ軍馬ヲ充足シテハナラナイ、若シ足ラナカツタナラバ買ヒ不足デ宜シイ、徵發不足デ宜シイ、其ノ場合ニ於テハ別ニ手段ヲ講ズルト云フヤウナコトヲ何通モ通牒ヲ發シテ居リマス、又陸軍ノ中央部ト致シマシテモ、各師團並ニ軍馬補充部方面ニ對シマシテ、其ノヤウナ注意ヲ怠ラズ致シテ參ツテ居ルノデアリマス、左様ナ次第デアリマスノデ、若シ只今御叱言ノアリマシタヤウナ事實ガ隨所ニアルト致シマシタナラバ、是ハ私共初メ當事者ノ意ニ非常ニ反シテ居ルコトデアリマスノデ、是ハ十分調査ノ上、ソレノ善處致シタイト考ヘテ居リ

マス

○遠山委員 只今價格ノコトニ付テハ御答辯ガゴザイマシテ了承致シマシタ、御承知ノ如ク價格ノ上リ下リト云フノハ常ノコトデアリマス、上ルト云フ時分ニ對シマシテハ買フ方デ困難スル、下ル場合ニ付テハ買フ方モ、又賣ル方デモ大變都合ガ好イ、是ハ先ヅサウ致シテ置キマシテ、私ノ御尋致シタイ要點ハ、其ノ畜主ノ家族ニ於テ只今申シマシタヤウニ、既ニ倅ナリ主人公ガ召集サレテ手不足ヲ感ジテ居ル、尙ホ其ノ上ニ馬ヲ購買サレルト云フコトニナルト、其ノ家族ハ殆ド勞力ヲ失ツテシマフノデアリマス、ソコデ買上グラレタ馬ノ代リヲ買ハウトスルト、其ノ差額ガ、錢ガ足りナイト云フコトニナツテシマス、下ル時ナラ宜シイガ、上ル時ニハ日ニ々々暴騰致ス場合モアルノデアリマス、賣ツテ買フ間ニ既ニ金ガ足ラスト云フヤウナ悲慘ナ状態ニモナルノデアリマスカラ、其ノ家族ニ對シマシテ馬ヲ買上グルニ際シテ、家族勞力ニ對スル斟酌、御調査ガ願ヘヌモノデアラウカ、斯ウ云フ點ガ私ノ御尋致シタイ點デゴザイマス

○栗林説明員 購買ノ場合ニ於キマシテハ、賣ルト賣ラザルトハ、是ハ畜主ノ考ニ

依ツテ決マルコトデアリマスノデ、若シ代馬ノ購入ノヤウナ關係、若クハ家族ノ爾後ノ勞力問題ト云フヤウナ關係カラ、ドウシテモ賣レナイト云フ場合ガアリマシタナラバ、其ノ場合ニハ賣ルコトヲ御斷リニナツテ、一向差支ナイ譯デアリマス、唯微發ノ場合ニ於キマシテハ、サウ簡單ニ參リマセヌノデ、先程申シマシタ通り、或ル一定數ヲ一定期間内ニ充足スル關係上、無理ヲ致シマシテモ、其ノ畜主カラ馬ヲ買ヒ取ルト云フコトニ相成リマス、是ハ洵ニ已ムヲ得ナイコトデアリマシテ、馬ヲ持つテ居ル者ニ對シマシテハ、全ク御同情致シテ居ルノデアリマスガ、是ノ爲政ノ方法ト致シマシテハ、別ニ馬政局方面ニ御願致シマシテ、馬ノ共同購入トカ云フヤウナ方法ニ依リマシテ、其ノ邊ノ補ヒハ附ケテ行ツテ居ルノデアリマス

○遠山委員 委員長

○大石委員長代理 遠山サン、アナタハ中野サンノ次ノ質問順位ニナツテ居リマスガ、ソレマデ御待チニナツタラ如何デスカ

○遠山委員 モウ是デ終リマス——私ハ一ツ希望ヲ申上ゲテ置キタイと思フノデアリマス、馬ノ買上ト云フ唯一方面ダケヲ見レバ單純デアリマスケレドモ、其ノ裏面ニ於

キマシテハ只今申上ゲタ如キ事情モアツテ、一家悲慘ナ状態ニアルノデアリマスカラ、ソレヲ一ツ斟酌ニ入レテ御買上ゲ下サルヤウニ、何等カ方法ヲ講ジテ戴キタイと思フノデアリマス、一方澤山持つテ居ル人ハ喜ンデ居ルニモ拘ラズ、倅モ主人モ召集サレテシマツテ、勞力ノ足ラヌ所ニ馬ノ微發或ハ購買ヲサレル、買ハウトスレバ錢ガ足ラナイト云フコトニナツタラ、一家ハドウナルデアリマセウカ、實ニ悲慘ナ状態ニ陥ツテ居ルコトヲ私ハ承知致シテ居リマス、何卒其ノ邊ニ付キマシテハ御斟酌、御調査ノ上デ、今後御買上ゲアラント切ニ希望致シマス、是デ終リマス

○小笠原委員 關聯事項デ……購買等ニ對シマシテハ只今遠山サンノ仰セニナラレタ通り色々ノ事情ガアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ私ハ明日私ノ質問ノ場合ニ詳シク御尋致シタイと思ヒマスガ、唯茲ニ一言馬ノ價格ノ認識ト云フコトニ付キマシテ、馬政局當局竝ニ陸軍ノ方カラ伺ツテ置カナケレバナラスコトガ、今栗林サンノ御答辯ニ依ツテ私ハ發見シタノデアリマス、大體馬ノ自然價格ト云フモノハ、使役地、農地關係ノ利用、其ノ方面デ最モ要望スル馬ノ價格ト云フモノガ、私ハ自然ナモノト考ヘテ

居ルノデアリマス、ソコデ其ノ馬ハドウ云フ馬カト云フト小格輓馬ニ相違ナイ、又日本在來ノ馬ハ一番適當ナモノデアアル、ソレヲ軍用馬ガ國防上必要デアルガ故ニ、第一次馬政計畫、第二次馬政計畫ニ依ツテ外國種ヲ入レテ、サウシテ軍ノ要望スル馬ヲ作ラセタノデアリマス、其ノ出來タ馬ガ自然ノ價格デ賣ラレル譯ガナイ、軍デ買フ價格ハ、特ニソレヲ擁護シテ軍デ必要ナ價格デ買フノデアツテ、ソレカラ落チタ普通ノ馬ト云フモノハ、是ハ一般ニ要望スル馬デハナイ、軍馬ヲ作ラウトシテ、一般ニ使ハレナイ馬ガ而モ軍馬ニ買ハレナイデ、ハグレタ馬デアルカラ、ソコデ相手ガナイカラ相當ニ是ハ安クナル、普通馬ガ二百圓ナラ軍馬トシテ買ツタモノハ三百圓デアアル、ソコニ二百圓ト三百圓デ百圓ノ差ガアルト云フコトハ、普通馬ニ賣ラレタヨリモ軍馬ハ百圓高ク買ツタノデアアルト云フ認識ハ、是ハ大ナル誤リデアアル、サウ云フ認識ヲ以テシテハ、第二次馬政計畫ノ方針モ何モ出來タモノデハナイ、是ハ一ツ認識ヲ改メテ貰ハナクテハ駄目ナノデス、ソコデ馬政局ノ長官、一體アナタハドウ云フ御考ヲ御持ニナツテ居ルカ、之ヲ一ツ聽カナケレバナラス、軍馬ヲ作ルノガ目的デ、而モソレヲ無理シテ拵

ヘテ出来ナイノダカラ、高ク軍馬ヲ買フノハ當然ナ話、買ヒハグツタ馬ニ對シテハ、是ハ鐵砲ノ出来損ヒト同ジデ、ソレヲ見越シテ鐵砲ヲ拵ヘタリ、大砲ヲ拵ヘタリシテ居ルノデアル、ソレヲ經濟的ニハ知ツテ居ルケレドモ、間ニ合ハナイカラ農家ノ方ハ默ツテ言ヒナリニ、國防上ニ或ハ産業上ニ、政府ノ指導スル儘ニ本當ニ正直ニヤツテ居ル、ソレヲ今度ハ、馬ノ價格ノ認識ヲサウ云フ風ニ見ラレタノデハ、是ハトテモ軍馬ノ生産上ニ重大ナル支障ヲ來スノデアリマスカラ、根本ノ價格ノ認識——今度ハ取引改善ト云フコトヲ、アナタ方ハ御考ナサル上ニ於テ、今栗林サンノ御考ニナツテ居ル如ク、今マデハ民間ニサウ不便ヲ感ジサセテハ居ラヌト云フ反面ニ於テ、取引改善ヲシヨウト云フコトニ對シテハ、非常ニ私ハ疑問ヲ懷イテ居リマスガ、是ハ後デ私ノ質問ノ時ニ伺フコトニシテ、今ノ價格ノ認識ト云フコトニ付キマシテ、一寸御答ヲ願ヒタイト思フ

○荷見政府委員 私ハ馬ノ價格ニ付キマシテハ、先般來生産費ト云フ風ナモノヲ十分考慮シテ行カナケレバिकासト云フ御話モ伺ツテ居リマス、ムレカラ物價ノ變動、詰リ貨幣價值ノ變動ノコトモ、能ク考ヘテ貰

ハナケレバिकासト云フコトモ再々伺ツテ居リマス、大體物ノ價格ト云フモノハ、私ハサウ云フモノノ總テガ綜合サレマシテ、需要供給ノ間ニ生レルノガ本當ノ價格ダト思フノデアリマス、今ノヤウナ軍ノ要求ガアリマシテ、軍ノ要求スル所ハ生産費ト飼育費等ニ相當ノ價格ヲ要スルモノデアリマシタナラバ、是ハ其ノモノガ馬ノ價格ヲ決定スル最モ重要ナル部分ニナリマシテ、ソレデ價格ガ決定サレルト云フノデナケレバ、馬ノ生産ト云フモノハ、成立タナイト思フ、故ニ只今御話ノヤウニ馬ノ生産擴充、軍用適格馬ノ數ノ増加ト云フコトヲ、非常ニ重要視サレマスル現時ノ狀態ニ於キマシテハ、其ノ價格ト云フモノモ、御話ノヤウニ馬ノ生産ニ要スル價格ナリ、或ハ需要ノ數ナリ、供給ノ數ナリ、其ノ他物價一般ノ變動ナリト云フコトガ總テ綜合サレマシテ、茲ニ妥當ナ價格ガ出来ナケレバिकास、斯ウ思フノデアリマス、是ハ極メテ抽象的ノ御話デゴザイマシテ、具體的ニハ甚ダ要領ヲ得ヌト私モ思フノデアリマス、私ノ申上ガルコトハ要領ハ得ヌガ、是ハ理論上斯様なモノデアルト考ヘルノデアリマス、ソレデ今回ハドウデアアルカト云フト、事變ノ結果軍デ購買ナサル馬ノ數モ相當殖エルト思

ヒマス、ソレカラ生産力擴充ニ關シマシテ、馬政當局等ニ於テ需要スル馬ノ數モ相當殖エルト思ヒマス、其ノ外ニ軍用保護馬デ一定ノ資格ノアル馬ニ付キマシテハ、是ハ政府ガ買上ゲマセヌデモ相當ノ保護ヲスルコトニナツテ居リマス、勿論財政ノ許ス範圍デアリマスカラ、生産者或ハ飼育者ガ非常ニ御満足ニナル程度ニハ行カヌト思ヒマスケレドモ、或ル程度保護サレルト思フノデアリマス、斯ウ云フ風ナ需要ナリ、或ハ保護ナリノ制度ガ今度ノ計畫ニ依ツテ確立致シマスレバ、ソレニ依ツテ何ト云フノデアリマスカ、非常ニ不利益ヲ蒙ルコトガナルノミナラズ、價格ノ構成ノ上ニモ良結果ヲ得ルヤウニナルノデハナカラウカト思ヒマス、ソレデ序ニ申上ゲテ置キマスガ、只今軍ノ御當局ト協議ヲ致シテ居リマスル馬取引改善ノ關係ニ付キマシテハ、是ハ前回ニモ申上ゲマシタ通り、大體只今小笠原委員ノ御話ノ通りニ、馬ノ買入ノ大キナ需要者ト致シマシテハ、陸軍及ビ農林省、要スルニ政府側ガ大イナル需要者デアルト思フノデアリマス、コチヲノ方ガ能ク研究ヲ盡シマシテ、色々御議論ノアル際デアルカラ、至急ニ其ノ成案ヲ得マシテ、賣買價格ノ決定ナリ、取引改善ナリニ進ンデ参リタ

イ、斯様ニ思ツテ居ル譯デ、形式的ニ協議ヲスルト云フヤウナ生易シイ考ヘヲ私共——勿論サウ御考ニナラヌト思ヒマスガ——決シテ持ツテ居ル譯デハアリマセヌ、極メテ眞劍ニ考ヘテ、適當ナ結果ヲ得タイト考ヘテ居ル次第デアリマス、アナタノ御質問ニ對シマシテハ十分デナイカモ知レマセヌガ、大體私共ノ思想ノ方向ダケヲ御答申上ゲマス

○大石委員長代理 栗林サンノ御答辯ハアリマセヌカ

○栗林説明員 アリマセヌ

○小笠原委員 宜シウゴザイマス、明日御聽キ致シマス

○大石委員長代理 ソレデハ中野寅吉君

○中野委員 政府ニ尋ネマス、本法案ノ提案ノ理由書ニ「國防上特ニ必要トスル有能馬ノ飼養管理」ト斯ウアル、此ノ有能馬ト云フノハドウ云フモノデアリマスカ、有能馬ノ定義ヲ一寸聽キタイ、有能馬ノ反對ハ無能馬デア

○荷見政府委員 只今ノ御話ノ點ハ「國防上特ニ必要トスル有能馬」デアリマシテ、此ノ國防上ト云フノハ極メテ狹義ニ解釋致シテ居リマシテ、陸軍ノ特ニ必要ナル有能馬ト云フ風ニナルノデアリマス、然ラバ陸軍ハ

如何ナルモノヲ要求シテ居ルカト申シマス
ト、先般御手許ニ資料トシテ差上ゲマシタ

馬政ニ關スル陸軍ノ要望ニアリマスル通り、

「低身、廣軀、四肢強健ニシテ負擔力、輓曳力
並持久力ニ富ミ中等體尺者ノ乗御使役ニ便

ニシテ飼養管理容易ナル馬ヲ標準トシ」斯ウ
云フ風ナコトニナツテ居リマス、定義ノヤ

ウナモノト致シマスレバ、大體斯ウ云フ風
ナ觀念デ御解釋下サルヤウニ願ヒタイト思
ヒマス

○中野委員 能ク分リマシタ、サウ云フ總

テノ條件ヲ具ヘタ馬ヲ作ルニハ飼養管理鍛
鍊ト云フコトガ必要デアル、ソレデ斯ウ云

フ馬ヲ作ルニハ、ヤハリ馬ノ性質ニ應ジテ、
早ク言ヘバ十分飛ビ跳ネラレル、十分遊ブ

コトノ出來ル、體ニ裕トリノアル所ガ必要
デアルシ、ソレカラ十分モノヲ食ハセナケ

レバナラス、モノヲ食ハセス、遊ブ場所モ
狭クシテ置イテ、今仰シヤツタ八方十方撞

ツタ有能馬ト云フモノハ出來ナイ、ソレヲ
陸軍省ノ方モ御要求ニナツテ居ルノデアル

カラ、ソコデ私ハ放牧地ノコトヲ熱心ニ話
シタノデアリマス、農林省ノ監理課長サン

ハオ出デニナリマシタカ——平山サンデア
リマスネ、平山ナラ放牧地ニハ最モ良イ(笑

聲)ソレデハ放牧地ニ好適デアル國有林ノ調

ガ付イテ居リマシタラ、其ノ資料ヲ一ツ頂
戴シタイ、ゴザイマセウカ

○平山說明員 馬政計畫ガ今度改定ニナリ

マシタニ付キマシテ、特ニ私ノ方デ調べテ
居リマスガ、差上ゲル程度ノモノハ只今ノ

所出來テ居マセヌ

○中野委員 サウスルト同ジ農林省ノ方デ
モ、監理課ノ方デハソシナ譯デアル、同ジ

農林省關係ノ馬政局ノ方デハ、サウ云フモ

ノヲ要求シテヤツテ、常ニ一目瞭然ニシテ
置カレル筈ノモノデアルト私ハ思フ、ソレ

ヲ陸軍ノ方ナリ其ノ他ノ方カラ要求シナケ
レバ調べナイト云フコトハ甚ダ怠慢ト私ハ

思フ、監理課長サンハ、馬政局ノ方デ調べ
テ吳レト言ヘバ調べルト云フヤウナコトヲ

言外ニ言ツテ居ル、是ハ大事ナノデスカラ
大至急一ツ調べテ戴キタイ、サウシテ其ノ

場所ニ依ツテ何縣ハ何處、何縣ハ何處ト、
國有林ヲ放牧地ニ出來ル所ヲ調べテ戴キタ

イ、各委員ノ方バカリデナク、各府縣カラ
出テ居ル代議士モ皆知ツテ居リマセウカラ、

ソコデ議會中ニ此ノ部分ハ放牧地トシテ適
當デカラ、國有林ヲ放牧地ニ開放シテ貰ヒ

タイト云フコトニ付テ、大臣カラ責任アル
答辯ヲ得タイト思ヒマス、サウデナイト此

セヌヨ、馬ニ碌ナモノヲ食ハセナイデ、遊
グ場所モナクテ今ノヤウナ條件ノ馬ヲ作レ

ト言ツテモソレハ駄目デアル、昔山椒太夫

ト云フ惡人ガ居ツテ安壽姫ニ懸想シテ、言
フコトヲ聽カナイモノデアルカラ、御飯ノ

飯飽デ木ヲ伐レト云フコトヲ言ヒ付ケタト
云フ話ガアルガ、丁度ソレト同ジデアル、

遊ブ場所モナク、食フモノモナクテ、斯ウ
云フ馬ヲ作レト言ツテモ作レルモノデヤア

リマセヌカラ、一ツドウカ馬政局ニ於テ今

ノ放牧ニ適當スル國有林ヲ大至急調べテ、
其ノ表ヲ吾々ニ提示アラシコトヲ要求シマ

ス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○荷見政府委員 洵ニ御尤ナ、至極適切ナ
ル御質問ダト思ヒマス、私共モ同様ニ考ヘ

テ居リマス、此ノ放牧地ノ關係ニ付キマシ
テハ、一面ハ生産費ノ低下ト云フコトガ一ツ

ノ重要ナ「ファクター」デアルト、モウ一ツ
ハ御話ノヤウニ陸軍デ強健ナ馬ヲ要望スル

爲ニ必要ナノデアリマシテ、御話ノ通りニ
存ジテ居ルノデアリマス、所ガ一々此處ガ

放牧地ヲ要スルノデ、國有林ヲドレ位ヤツ
タ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、全

國ノ馬産ノ狀態ト國有林ノ狀態トヲ能ク睨
ミ合セマシテ、調査ヲシナケレバイケナイ

國有林野ノ放牧、採草限定地ト申シマスノ
ハ、全國ニ十七万町歩カアルノデアリマス、是ハ

勿論僅ダト思フノデアリマスガ、此ノ放牧ニ適

スル土地トシテ限定サレタ土地ノ中ニモ、只
今デハ放牧ニ適セヌヤウナ土地ニナツテシマ

ツタ所モ澤山アリマスシ、又ソレ以外ニモ適ス
ルヤウナ土地ガアルト思フノデアリマス、ソ

レデ今回ハサウ云フモノヲ徹底的ニ調査ヲ致
シマシテ、新馬政計畫ノ實施ニ遺憾ナキヲ

期シタイト云フノデ、甚ダ遅延デアリマス

ガ、昨午暮ニナリマシテ——是マデ會合ス
ルヤウナ機會モナカツタモノデスカラ、省

内ニ關係局及ビ陸軍當局其ノ他民間ノ人モ
若干加ハツテ貰ヒマシテ、審議會ヲ作ツテ

至急ニ成案ヲ得タイト考ヘテ居ルヤウナ次
第デアリマス、尙ホ馬政當局トシテモ、斯

ウ云フ案ヲ持ツテ居ルノニ、山林局ニモ適
當ナル要求ヲドン——シテ行カナケレバナ

ラスデハナイカト云フ御質問ハ御尤モダト
思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ今年度ノ

豫算ニ極ク僅カ數万圓ノ經費デゴザイマス
ケレドモ、山林局ニバカリ御願シテ置イテ

モイケナイト思ヒマシテ、山林局ト共同調
査ヲ致シマシテ、吾々ノ方ノ馬産ノ關係ノ

者モ加ハリマシテ、地方ノ實情ト睨合セ、
更ニ牧野ノ整備ヲ致シタイト云フノデ、共

同調査ノ經費モ若干計上致シテ居ルヤウナ
譯デゴザイマス、今ノ御話ノヤウナ趣旨ニ
依リマシテ、至急ニ其ノ仕事ヲ進捗致サセ
タイト誠心誠意考ヘテ居ル次第デアリマス、
唯議會中ニ其ノ案ヲ提出スト云フノニハ
人手モアリマセヌシ、時間モアリマセヌノ
デ、此ノ議會中ニハ間ニ合ハスカト考ヘテ
居リマス

○中野委員 能ク分リマシタ、私モ内氣ナ
男デアリマスカラ氣マヅイコトハ言ヒタク
アリマセヌガ、言フテ見ナケレバ分ラヌカ
ラ言フタノデアリマス、役人ノ言フコトデ
アリマスカラ嘘ハナイト思ヒマスガ、陸軍
ニ於テモ今ノ御話ヲ農林省ノ方デ變更シナ
イヤウニ、一ツ横合カラ眺ンデ居ツテ下サ
イ

○大石委員長代理 遠山君ハ席ニ居リマセ
ヌカラ、小串清一君

○小串委員 段々御質問ガアリマシタカラ
私ノ伺フコトハ、サウ餘計ナイカト思ヒマ
スガ、二三御尋シタイト思ヒマス、第一ニ
今回ノ馬政計畫ニ依ツテ、國有種牡馬ハ昭和
二十年度マデニ七千八百頭ニナル、其ノ中
ノ二千頭ハ政府自ラ之ヲ繋養シ、他ノ政府
ノ認可スル以外ノ民有ノ種牡馬ハ、二十年
マデニ段々ニ整理シテ、現在ノ乘型馬ノ生

産ヲ先ツ最初ニ整理シ、段々ニ輓馬ヲ整理
スルト云フヤウニ御發表ニナツテ居ル、ソ
コデ斯ウ云フ風ニ馬政計畫ヲ御立デニナリ
マシタ種牡馬ノ血種ニ付キマシテノ「パー
センテージ」、即チ輕種ヲドノ位、又重種ノ
中デモ色々アリマスガ、ソレガドノ位ノ種
類別頭數ニナツテ居ルカ、御調べニナツテ
居レバ伺ツテ見タイト思フノデゴザイマス
○荷見政府委員 是ハ陸軍ノ方トノ關係モ
ゴザイマスガ、種牡馬ノ役種別頭數ヲ申上
ゲマスト、役種別ノ將來ノ數ガ分リマスノ
デ一寸申上ゲ兼ネマス

○小串委員 ソレデハ次ニ只今中野サンカ
ラ御切ナ御質問ガアリマシタガ、軍ノ要望
スル馬ハ低身廣軀四肢強健ニシテ擔力輓力
強ク持久力ニ富ム馬デアル、斯ウ云フ馬ヲ
作ルコトニナツテ居ル、而モ政府ノ發表ス
ル所ニ依リマス、斯ウ云フ結論ニ到達シ
タノハ、今回ノ戰爭ニ依ツテ我國ノ產馬ガ
組織過悍ニシテ實益の勢力ガ不十分ナルコ
トヲ暴露シタカラデアツテ、是ハ競馬ノ累
弊ニ因ルモノデアルト云フコトニナツテ居
リマス、或ハサウ云フコトモアリマセウガ、
今ソレヲ誰ノ責任ニスル譯デモアリマセヌ
ガ、地方競馬ノ累弊ト云フコトガ、主トシ
テ其ノ原因デアツタト云フコトヲ言ハレル

當局ノ人々モアルノデアリマスガ、是ハ從
來日本ノ競馬出場馬ニ對スル政府ノ指導方
針ト云ヒマスガ、監督方針ニ所謂注意ガ缺
ケテ居ツテ、サウ云フ馬ニノミカヲ入レテ居
ツタカラデアツテ、サウ云フ馬ヲ作ツタ原
因ガ競馬ニアルトスルナラバ、今滔々トヤ
ツテ居ル公認競馬ノヤリ方ニモ大責任ガア
ルヤウニ考ヘルノデアリマス、サウ云フ譯
デアリマシテ、實ハ私共地方競馬ヲヤルニ
付テ、農耕馬若クハ實用ノ馬トシテハ中間
種ガ宜イト云フコトデ、我ガ神奈川縣ノ如
キハ年々中間種ノ馬ヲ多ク種馬トシテ購買
シ、若クハ之ヲ獎勵シテヤツテ居ルノデア
リマスガ、今回承ル所ニ依ルト日本競馬會
ノ公認競馬ハ、從來ノ輓馬型ノモノ、即チ
速歩馬ノ速歩競走ヲ廢メテ駢足若クハ障
「レース」ニスル、隨テ其ノ出場馬ハ輕種即チ
「サラブレッド」若クハ斯ウ云ツタ種類ノ馬ヲ
多ク採ルト云フヤウニ聞イテ居リマスガ、今
國有種牡馬ヲ漸次乘型ヲ整理シテ輓型ヲ作
ルト云フ時ニ、公認競馬ノ種馬ハ今最モ御
嫌ヒニナツテ居ル所謂輕捷ニシテ過悍ナル
馬ヲ澤山作り出スト云フコトハ、一寸理解
ニ苦シムノデアリマスガ、何カソコニ理由
ガアルカドウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイト思
ヒマス

○伊藤政府委員 只今ノ御質問ハ速歩馬ノ
速歩競走ヲ廢メタノハ、ドウ云フ譯カト云フ
御尋デアツタヤウデアリマスガ、競馬ニ於キマ
シテ速歩馬ニ速歩競走ヲ常ニヤラセマスコ
トハ、ドウシテモ馬ヲ輕化サセルコトニナ
リマシテ、今回陸軍カラ要望サレマシタヤ
ウナ、シツカリシタ輓馬ヲ作ルニハ相應ハ
シクナイト云フヤウニ考ヘマシタノデ、速歩
競走ヲ廢止スルコトニ致シマシタ譯デアリ
マス

○小串委員 サウナルト乘馬型ノモノ即チ
「サラブレッド」及ビ「アングロアラブ」ノヤ
ウナモノヲヤル、サウ云フ欲シクモナイモ
ノヲ多クヤルヨリハ、寧ロ私ハ普通ノ乘馬
型ノ中間種若クハ速歩馬及ビ重乘馬ニナル
モノガ、大ニ必要ナノデハナイカト思ヒマ
スガ、速歩馬ハ陸軍モ要望シテ居ラヌト云
フコトニナレバ、外ノ輕種ノミヲ主トスル
ト云フ其ノ趣旨ガ能ク分ラナイノデアリマ
ス、其ノ點ヲ尙ホ伺ヒタイ
○伊藤政府委員 輕種ヲ出走サセマスノハ、
將來輕種ハ實利的ニハ使ヘマセヌケレドモ、
種馬トシテハドウシテモ特殊ノ乘用馬其ノ
他ノ輕種ノ血液ヲ注入スル必要ガアリマス
ノデ、是等ヲ保護致シ、競馬ニ依ツテ優秀
ナル馬ヲ選定致シマス爲ニ、種馬ヲ種馬トシ

テ檢定致シマスモノハ、總テ公認競馬ノ出走馬ヨリ選定スルト云フヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○小串委員 是ハ私素人デスカラ、サウ議論シテモイケマセヌガ、兎ニ角軍ノ欲セラレルトハ違フモノヲ、最モ大イナル賞金ヲ懸ケテ堂々ト營業ヲヤル、一年ニ一億何千万ト云フヤウナ馬券ヲ賣ル所ノ公認競馬ヲ實施セラレ、而シテ其ノ内容ハ即チ重馬ニ輕イ伶俐ナ血液ヲ注入スル、謂ハバ少イモノニ向ツテ非常ニ大イナル努力ヲ拂ハレテ居ルト云フコトガ、一寸ドウカト思ツテ伺ツタノデスガ、是レ以上質問ハ致シマセヌ、次ニ今回ノ鍛鍊法ガ實施セラレマスト同時ニ、現在ノ百十三箇所ノ地方競馬ハ之ヲ廢止スルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ無論地方競馬ノ現在ノモノガ、完璧ナモノトハ吾々思ヒマセヌシ、昨年既ニア、云フ案ヲ出シテ、全會一致デ衆議院ハ通ツテ居ルノデアリマスカラ、別ニ異議ハナイノデスガ、是ダケノモノヲ廢止スルト云フコトニ依リマシテ、百十三箇所ガ先ヅ四十箇所カ四十七箇所ニナルモノト思ヒマス、之ニ從事シタ所ノ人ノ方面ダケニ於キマシテモ、數万ノ人ノ三分ノ二位ノモノハ失業スル、ソレカラ之ニ要シタル所ノ整

理ハ、現ニ馬政局デ發表ニナリマシタダケデモ、即チ將來整理事業實施ニ當リ政府部内ニ整理委員會ヲ設置シ、充分慎重ニ是ガ審議ヲ爲シタル上決定スルコトトスル見込ニシテ、各競馬場毎ノ見込額ニ付テハ、其ノ影響スル所甚大ナルヲ以テ之ヲ公表シナイケレドモ、昭和十年十月一日現在ノ調査ニ依レバ、競馬場ノ土地建物ニ要シタル經費ト建物見積價格トノ差額、即チ投資額ト評價額トノ差額ハ約三百二十萬圓ナリ、斯ウ云フコトデアリマス、之ヲ整理シテ片付ケルト云フコトガ、私ハ中々容易ナコトデヤナイグラウト思ヒマス、先年地方競馬ガ至ル所ニ景品券發行ノ競馬トシテ、行ハレルコトニナリマシタ當時ニ、之ヲ餘リ多クナツテハドウカト思フコトカラ御整理ニナツタ、即チ今ノ地方競馬規則ト云フモノガ、昭和二年ニ出タノデアリマスガ、當時政府トシテハ此ノ競馬ヲ整理スルニ當ツテ、特ニ滿二箇年ノ餘裕ヲ置イテ、サウシテ各府縣ヲ三箇所、二箇所等ニ漸次整理ヲサシタノデアリマス、所ガ今回ハ此ノ整理サレタ地方競馬ヲ——從來最モ困難トシタ此ノ整理ヲスル時分ニデモ、各府縣ニ於テ非常ナ議論ガアリ、問題ガ起リマシテ、大變「トラブル」ヲ起シタ、ソ

レガドウヤラ整理ガ付キ、又今日デハ地方競馬トシテノ出走馬ガ、實用ニドウスウト云フ議論ハ別トシマシテ、競馬開催其ノモノハ極メテ平穩ニ行ハレテ居ル、先達テノ犯罪其ノ他ノ統計ニ依リマシテモ、特殊ノ場合ヲ除クノ外ハ、公認競馬ハ違反數ハ總比例ニ於テハ寧ロ少イ位ニ整理サレテ居ルノデアリマスガ、之ヲモウ一ツ壓縮シテ四十箇所ニスルト云フコトハ、是ハ相當ノ困難ガ伴フノグラウト思フノデアリマスガ、而モ此ノ法律ガ通過シテ四月ニ公布ニナレバ、昭和十四年ノ十二月末日ヲ限リトシテ、一月一日カラ新シイ法律ニ依ツテ、即チ新ナル競馬場ヲ設置シ、從來ノモノハ之ヲ全部廢止スル、斯ウ云フコトハ可ナリ急激ナル改革デアツテ、各地方ニ於テハ私ハ相當ノ困難ヲ惹起スル、非常ナ弊害ガアルカドウカ知リマセヌガ、兎ニ角斯ウ云フコトヲ改革スルニ付テ、今マデ十數年馴致シテ此處マデ來テ居ツタモノデアリマスカラ、之ヲ急激ニ止メナクテハナラスト云フコトニ付テハ、相當ノ重大ナル弊害ガアルト云フコトヲ御認メニナツテ居ルカ、或ハ弊害ハナイケレドモ、此ノ方ガ大變ニ偉ク良クナルノダカラ、コンナニ比較上違フノダカラ、是ハ極ク僅ノ間ニサウ云フヤウニ直シテシ

マウト云フノデアリマスガ、ソコヲ少シ分リ宜イヤウニ、當局ノ斯ル決心ヲナサルニ至ツタ理由ヲ、一應承リタイト思フノデアリマス

○荷見政府委員 今回鍛鍊馬競走ヲ施行スルニ伴ヒマシテ、地方競馬規則ニ依ル競馬ガ廢止サレルト云フコトニナルト、ソレニ要スル色々ナ整理ニ關スルモノモ大變ナコトデアルガ、ソレト同時ニ之ニ關與シテ居ツタ人ノ整理ト云フコトモ、相當數ニ上ルモノデアルカラ、是ハドウスル積リカト云フ御尋ガ第一點ノヤウニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ馬事施設ニ依リマスル職員等ハ、出來得ル限リ今般擴大セラレマスル馬政計畫ノ方面ニ、轉換致サセ得ル限リハ轉換致シマシテ、迷惑ヲ掛ケルコトヲ少ク致シタイト思ツテ居ルノデアリマス、併シソレニ致シマシテモ臨時的ニ春秋二期ニ、ソチヲ方ニ働イタ人ハ仕事ガ無クナル譯デアリマスガ、是ハ失業ト申ス程ノモノデモナカラウト思ヒマスシ、適當ノ方ニ自分デ解決シテ戴ク外ハナイカト思フノデアリマス、ソレカラ地方競馬ヲ廢止スルヲ、先般昭和十五年ノ一月以後ニ施行致シタイ見込デアルコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、サウ急イデ整理スルト云フコ

トニナルト、色々ノ困難ガアルノデハナイ
カト云フ風ノ御尋ノヤウニ伺ツタノデアリ
マスガ、此ノ法律ガ施行致サレマスレバ、
軍用保護馬ノ檢定ガアリマシテ、其ノ指定ヲ
受ケルノデアリマスガ、地方競馬出走中ノ
モノデモ、先般モ申上ゲマシタヤウニ、格
ノ良キモノハ大抵軍用保護馬ニ指定サレル
ト云フコトニナリマスレバ、本年一杯シマ
スレバ、來年カラソレガ鍛鍊馬競走ニ移リ
マシテ、大シテ差支ナイノミナラズ、地方
競馬ニソレ以外ニ出走スルト云フコトハ、
極メテ少クナルデアラウト考ヘマスノデ、
ソレデ明年以後ハ地方競馬法ニ依ル競馬ヘ、
之ヲ廢止シタイト云フ見込ヲ立テ居ル譯
デアリマス

○小串委員 サウスルト兎ニ角今ノ御答辯
ニ依ツテ競馬ニ從事シテ居ル職員技術員ト
云フモノニ付テハ、新ニ馬政計畫ノ方面ニ
之ヲ轉用シテ困ラセルコトハナイトノコト
デスガ、モウ一ツノ競馬ノ整理ニ付テハ、
私ノ申シタ巨大ナル金ノ三百二十萬圓ノ現
在ノ設備ヲ、大部分整理シナケレバナラス
ト云フ、其ノ方面ノ御考ハドウデアリマス
○荷見政府委員 廢止サレマス地方競馬ノ
馬場ノ整理ニ關シマシテハ、是ハ軍用保
護馬ノ鍛鍊中央會ニ出來得ル限り整理ヲ致

サセル積リデ居リマス、但シ軍用保護馬鍛鍊
中央會ニ地方ノ鍛鍊馬競走ノ施行者ヨリ集ツ
テ來マス納付金額ガ、ソレ程多額ニナリマセ
ヌ場合ニ於テハ、其ノ整理ニ付テ出來得ル限
リ支障ヲ少ナカラシムルヤウナ方策ヲ講ジタ
イト云フコトヲ色々目論シテ居ル次第デアリマ
ス、尤モ中央會ノ方ニ納付サレル金額ガ非常ニ
豊富デアレバ、別段ノ整理ハシナイデモ濟ムダ
ラウト思ヒマス

○小串委員 少シ觀點ヲ變ヘマシテ、競馬
施行ニ關スル問題ニ付テ御尋シテ、尙ホ今ノ
中央會ノ問題ハ後デ御伺シタイト思ヒマス、
今回ノ法律ノ改正ニ依ツテ軍馬資源保護ノ
方法トシテ、軍用保護馬ヲ作ル、サウシテ
而モ其ノ鍛鍊ハ所謂普通鍛鍊ト鍛鍊競技ニ
依ルト云フコトデアリマシテ、先刻外ノ方
ノ御質問ニ大體御答辯モアリマシタガ、此
ノ普通鍛鍊ハ地方長官ガ之ヲ實施スルト云
フコトデアリマスガ、目下府縣デハ所謂軍
用馬鍛鍊會ガ各府縣ニ組織サレテ居ツテモ、
殆ド是ハ畜産組合ガヤツテ居リマス、サウ
致シマス普通鍛鍊ヲ施行スルガ爲ニ、各
府縣ニ此ノ種ノ機關ヲ設ケ、相當ノ技術員
ヤ官吏ヲ備ヘルト云フヤウナコトニナツテ
居リマスガ、若シサウダトスルナラバ、大
體一府縣ニ斯ウ云ツタ方面ノ設備ガ、ドノ

位要ルノデセウカ、或ハ此ノ御發表ニナツ
テ居ル豫算ノ中ニアルノカモ知レマセスガ、
此ノ所謂普通鍛鍊ノ、各府縣地方長官ニ於
テ爲ス所ノ設備並ニ其ノ經費ヲ御伺致シマ
ス

○佐々木説明員 普通鍛鍊ヲ實施ヲ致シマ
ス爲ニ、地方廳ニ置キマス職員ハ、豫算上ニ
於キマシテハ總計百五十名デアリマス、是
ハ專任ノ職員デゴザイマシテ、町村ノ普通
鍛鍊ヲ指導致シマス爲ニ、豫算面ニ於キマ
ス人ハ、一万五千人デアリマス

○佐々木説明員 普通鍛鍊ノ費用ト致シマ
シテ、豫算ニ見積ツテゴザイマスノハ、馬
ノ所有者ニ參リマスモノハ、一回毎ニ三十
五錢ノ曳付手當、其ノ外ニ町村ニ對シマシ
テハ雜費其ノ他ノ經費ヲ交付スルコトニナ
ツテ居リマス、府縣其ノ他ニハ事務費ガゴ
ザイマス

○小串委員 分リマシタ、扱テ普通鍛鍊ノ
全貌ハ判ツタノデアリマス、今度ハソレデ
ハ鍛鍊競技ノ問題デアリマス、鍛鍊競技ノ
問題ハ、先刻來大分質問ガアツテ御答辯ガア
リマシタガ、大體ニ於テ所謂軍用候補馬ノ
中ノ適當ノモノヲ選定シテ、サウシテ縣ヲ
單位トスル所ノ畜産組合トカ、第八條ニ規
定サレテ居ルモノガ施行ヲスルト云フコ
トニナツテ居リマスガ、此ノ鍛鍊競技會ニ於
テ、最モ此ノ委員會ニ於テ大イナル問題ト
ナツテ居ルノハ、此ノ競技ニ出場スル馬ハ、
ドウ云フモノデアアルカト云フコトト、ソレ
カラ此ノ競技ノ回數、日數ノ問題、ソレカ
ラ優等馬投票ヲ發行スル馬券ノ問題、此ノ
三ツガ先日來此ノ委員會デ問題ニナツテ居
リマスノデスガ、私ハ先ヅ第一ニ此ノ鍛鍊
競技ノ出場馬ト云フコトニ付テ、是ハドウ云
フ風ニシテ之ヲ選定スルカト云フコトガ一點

第六類第九號 軍馬資源保護法案外一件委員會會議錄

第五回 昭和十四年二月十七日

○小串委員 イヤ、私ノ言ヒ方ガ惡カツタ

○佐々木説明員 鍛鍊競技ノ方ニ付キマシ
テハ……

デアリマス、ソレカラモウ一ツハ、地方競馬規則ニ依リマス、現在地方競馬規則ノ第八條ニハ駆足、障礙及ビ速歩競技等ト云フ風ニ、競技ノ種類ヲハツキリ明示シテ規定シテアリマスガ、今回ノ鍛鍊馬競走ニハ、單ニ鍛鍊馬競走トシテ、サウ云フ内容ハナインデアリマスガ、即チ出場馬ヲ如何ニ選定スルカト云フコト、競技ノ方法等ハ、從來ノ地方競馬ト同ジニ見テ宜シイカ、先刻ノ御話デハ、來年中ニ之ヲ實行スルヤウニナレバ、現在出場シテ居ル馬ノ大部分ハ、軍用馬トシテ認定サレルカラ、馬ノ試驗方法ニハ、サウ困ラナイダラウト云フ御話デアリマシタガ、尙ホ競技ノ方法モ大體地方競馬ノ規定ト同様ニ承知シテ宜シイカ、ソレトモ何カ之ニ付テ既ニ政府決メラレテ居ル内容ガアリマスカドウカ

○佐々木説明員 出場馬ニ付キマシテハ第九條ニ「地方長官ノ指定シタル馬」ト云フ風ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、ソコデ如何ナルモノヲ地方長官ガ指定スルカト云フコトニ相成ル譯デゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ地方廳管内ノ同一市町村内ニ於キマシテ、引續キ一定ノ回數普通鍛鍊ヲ受ケマシテ、其ノ成績ガ良好ナルコトヲ認メマシタモノニ就キマシテ、更

ニ馬體検査ヲ實施致シマシテ、鍛鍊競技ニ出場ヲ適當ト認メマシタモノヲ出場スルヤウニ、指定ヲ致スヤウニ相成ルノデアリマス、北海道ニ於キマシテハ各競馬場毎ニ一定ノ地域ヲ限リマシテ、是ト同様ノ方法ニ依ツテ指定ヲ致シマス譯デゴザイマス、次ニ御質問ノ第二點ノ、競走實施ノ方法デゴザイマスガ、是ハ只今實施ヲ致シテ居リマス地方競馬規則ニ依ル競走ト、大體同ジト申上ゲテ差支ナイト思フノデゴザイマスガ、ヤリ方ノ細目竝ニ競走ノ種類等ニ付キマシテハ、尙ホ決定ヲ致シテ居リマセヌ所ガアリマス、是ハ御答申上ゲル程度ニ至ツテ居ラスノデアリマス

○小串委員 ソコデ地方長官ノ指定シタル鍛鍊馬、此ノ鍛鍊馬ハ私ハ全國ニ互ツテ非常ニ不同デアラウト思フ、或縣デハ一万頭モアルシ、或縣デハ數百頭或ハモツト少イ所モアルダラウト思フノデアリマス、無論是等ノ馬ノ中デ所謂軍用保護馬トシテノ競技ニ參加セシムベキ馬ハ、何レニシタ所デ其ノ中ノ少數ノ馬ニハ相違アリマセヌケレドモ、競技ニ出場スベキ資格アルモノガ非常ニ多イ縣ト、競技ニ出場スベキ資格ノアルモノガ非常ニ少イ縣ト現ハレルコトハ、當然ダト思フノデアリマス、ソコデ私ハ此

ノ間馬券ノ時ニモ伺ツタガ、競馬場ヲ一府縣一箇所トスルコトハ宜シイ、其ノ上競技ハ年二回トシテ毎回四日以内ニスルト云フト、實ヲ申スト、四日デモ或ハ頭數ノ上カラ申セバ、ソレデ差支ナイノデアルカモ知レマセヌガ、或ハソレデハ競技ヲ要スベキ相當ノ馬ノ大部分ガ、ソレニ出場スル機會ヲ與ヘテ貰フコトガ出來ナイト云フ結果ガ起ルト思フノデアリマス、先刻ドナタカノ御質問ニ、四日間デハ實際優勝「レース」ニモ困ル、優勝「レース」ニ二著三著マデモ優勝トシテ競走スルト云フコトヲ現ニヤツテ居ルノデアリマス、只今デモ神奈川縣、或ハ東京モ今度サウナツタト思ヒマスガ、地方競馬ガ既ニ出場馬ガ四百頭モ要求ガアル爲ニ、馬ノ出走ヲ毎日變ヘテシマツテ、毎日別ノ馬ヲ走ラセテ行クト云フヤウナコトヲヤツテ居ル、今度ノ此ノ計畫ガ、而モ一府縣一箇所デ年ニ二回ニナツテ四日間ト云フコトニナルト、其ノ認可ヲ與ヘラレタ鍛鍊競技場ニ於テ偏頗ナ、目的ニ副ハザル結果ガ出來ルト思フ、是ハ私ハヤハリ彈力性ヲ持タセテ六日以内ナラバ六日以内、本當ハ八日以内ガ宜イト思フノデアリマスケレドモ、六日以内位ニシテ、ヤハリ其ノ地方

ノ實情ニ依ツテ農林大臣ガ認可ヲ與ヘラレ

ル時ニ、六日ノ分モアリ、四日ノ分モアルト云フヤウニ、斯ウ云フヤウニスルノガ本當デハナイカ、サウデナイト非常ニ出場馬ノ頭數ニ差違ノアルモノヲ、其ノ儘ソレヤハリ四日間ト云フコトハ如何ニモヘンナ考ヘ方デアルト思フ、此ノ點ニ付テノ御考ヲ伺ヒマス

○佐々木説明員 此ノ點モウ度々問題ニナリマスノデ私共ノ考ト致シマシテハ軍用保護馬ノ中デ、能力ノ審査ノ必要ノアリマスモノヲ全部優等馬票ノ發行ヲ致ス鍛鍊馬場ニ掛ケル必要ハナイト考ヘテ居リマス、或ル一定數ハ國民一般ニ對シマシテ軍用馬ノ鍛鍊保護ニ關スル知識ノ普及ヲ圖ル爲ニ優等馬票ノ發行ヲ致ス鍛鍊馬場ニ掛ケマス、其ノ以外ノモノニ付キマシテハ、優等馬票ノ發行ヲ伴ハナイ鍛鍊馬場ニ掛ケテ差支ナイ、唯馬ノ持主ハ優等馬票ヲ發行シテ居ル所ノ鍛鍊馬場ノ方ガ賞金、其ノ他ノ手當ガ厚イ、優等馬票ノ發行ヲ伴ハナイ方ハサウ云フ收入ガ少イカラ、皆優等馬票ノ發行ヲ伴フ方ニ掛ケタルト云フヤウナコトガ出來テ來ルカモ知レスト思ヒマス、ソコハ成ベク優等馬票ノ發行ノ伴フ、伴ハザルニ拘ラズ、馬ノ所有者ノ受ケル利益ト云フモノヲ同一ニシテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居

ルノデゴザイマス

○小串委員 ソレハ私ノ伺ツタノト大變違
ツテ居ル、私モ今資源課長ノ仰シヤツタ通
リ無論軍用保護馬ノ全部、鍛鍊馬ノ全部ヲ
競馬ニ出スト云フコトハナイ、競馬ニハ極
ク少部分ノモノガ出ルト思フ、鍛鍊馬全體
ノ中カラ少部分ノモノガ出ル、ケレドモ鍛
鍊馬ガ一万頭アル所カラハ相當俊鋭ヲ選ツ
テ出スニシテモ、十分嚴選シテモ三百頭ヤ
四百頭ノモノハドウシテモ出サナケレバ困
ルト云フコトモ起ルドラウ、或ハ其ノ保護
馬ガ府縣ニ依ツテ非常ニ少イ地方デアリマ
シタナラバ、所謂競技ニ參加サセ得ベキ馬
ハ丁度宜イト云フ所モ無論アルドラウト思
フ、是ハ縣ニ依ツテ無論違フノデアルカラ、
法律トシテハドウシテモ四日ト云フヤウナ
非常ニ短縮シタ方法ニ依ラズシテ、先ヅ六
日以内ニスルノガ至當デアル、是ハ今アナ
タノ仰シヤツタノト少シモ私ノ考ハ違ツテ
居ナイ、詰リ迎モ澤山ノ鍛鍊馬ヲ端カラ皆
競馬ニ出スト云フヤウナコトハ考ヘラルベ
キコトデモナシ、又サウ云フ必要モナイノ
デアリマス、實際ニ當ツテ私ハサウ云フコ
トニナルト思フ、此ノ點長官ノ御考ハドウ
デスカ

ナイコトハナイト思ヒマスガ、私共ガ只今
ノ研究ノ程度ニ於キマシテハ、四日ヅツ一
年ニ二回開催出來マスレバ、略、其ノ目的ヲ
達シ得ルモノデアルカラ、若干ハ不足デア
ラテモ、是ハ其ノ他ノ全般ノ社會情勢等カ
ラ考ヘマシテ、今ノ程度位ニ決定致シテ置
イタ方ガ適當デアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居リマス

ト云フコトニナツテ居ル、是ハ區域ノ制限
ニサウ云フ監督上ノ關係ト云フヤウナコト
ハ考ヘラレナイト思ツテ居ル、若シサウナ
ラバ、私ハ改メテ茲ニ御尋ラスルケレドモ、
全國馬事大會デアルトカ、或ハ馬術會デア
ルトカ、或ハ遠乗會デアルトカ、現ニ此ノ
間モ紀元節ニ東京及ビ附近ノ馬ガ七百頭モ
出タノデアリマスガ、斯ウ言ツタヤウナ鍛
鍊若クハ鍛鍊ニ準ズベキ出場ノ馬ガ、同ジ
理窟デ府縣以外ニ出テハイカヌト云フコト
ニナリハセヌカト思フ、是ハ殊ニ鍛鍊競技
ト云フモノハ速力、耐久力、或ハ身體各部
ノ強健トカ、所謂馬ノ性能、能率ヲ檢定ラ
シ、又之ヲ比較ラスルノデアリマスカラ、
相當廣イ範圍ニ出場ヲサシタラ宜イノデハ
ナイカ、此ノ廣イ範圍ニ出場サセルト云フ
コトガ、先刻カラ私が幾度カ質問シテモ要
領ヲ得ナイ、即チ鍛鍊馬ノ相當澤山アル縣
ト、其ノ隣ニハサウ餘計ナイ所トアル、ソ
レガ雙方相寄ツテ出場サセレバ、ソコニ幾
ラカ緩和サレル事情ガアリハシナイカ、何
レニ致シマシテモ監督上都合ガ惡イカラ他
府縣ニハ馬ヲ出サセナイ、斯ウ云フ考ヘ方
カラスルト、先達テノアア云フ遠乗會等ニ
出場スル馬ハ大抵軍用保護馬ドラウト思フ
ガ、此ノ軍用保護馬ハ其ノ府縣以外デハヤ

ラセナイ、或ハ馬術大會等ニ於テ學生青年
ガ非常ニ鍊磨シテ自分ノ最モ練熟シタ馬デ
競技ヲショウトスルト、ドツコイ是ハ縣カ
ラ外ヘハ出サヌ、斯ウ云フコトハ一體馬事
獎勵ノ上ニドウ云フモノデゴザイマセウ
カ、或ハサウ云フコトハ宜イケレドモ、競
技會ダケハイケナイ、斯ウ言フト益、私ハ
意味ガ分ラナクナル、之ニ付テノ御考ハド
ウデアリマスカ

○荷見政府委員 幾ラ押問答シテモ同ジデス
ガ、私ノ聽イテ居ルノハ、サウスルト幾ラ
澤山ノ馬ガアツテモ、ヤハリソレダケノ日
數デソレキリヤラセナイ、馬ガ少クテモヤ
ハリソレダケヤラセル、斯ウ云フコトハ偏
頗デハナイカ、斯ウ尋ネテ居ル、所ガソレ
ハ偏頗ナ方ガ適當ダト云フ風ニモ聽取レル
ノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、ソコデ私ノ御
尋シナケレバナラヌコトハ、此ノ鍛鍊競技
ト云フモノガ、此ノ法ニ依ツテ其ノ府縣内
ニ限ラレテ居ル、其ノ理由トシテハ其ノ府
縣ノ馬ハ其ノ府縣知事ガ監督シテ居ルカ
ラ、監督權上サウシナケレバ都合ガ惡イ、
斯ウ云フ御答辯ガ昨日アリマシタ、所ガ此
ノ鍛鍊競技、即チ競馬デモ、公認ノ場合ニ
於テハ御承知ノ通り全國ニ互ツテ出場登録
ヲサセ、即チ全國ニ互ツテ、極ク少數ノ馬
デアルケレドモ、何處ヘデモ出場シテ居ル

○荷見政府委員 御話ノヤウナ事情モ全然

○小串委員 サウスルト今御尋シタノハド
ウナリマスカ、馬術競技會ナドニ出場スル

○小串委員 是ハ繰返シテ申上ゲルヤ
ウニナリマスガ、大體競馬ト同様ノ内容ノ
アル競技ヲスルノデアリマスカラ、ソレヲ
一府縣ニ限ラズ、數府縣ニ跨ツテ出走セシ
メルト云フコトニナリマス、軍用保護馬
ノ質ヲ害スルヤウナコトガアルノデ、何ト
言ヒマスカ、保護馬ノ損傷ヲ少ナカラシム
ル點カラ申シマシテモ、サウ再々各地ニ出
テ競技ヲスルト云フコトヲ認メルコトハ適
當デナイト云フ理由モアリ、地方長官ガ自
己ノ管内ノ鍛鍊競技ニ出場スル馬ヲ指定ス
ルト云フコトモアルノデアリマシテ、大體
鍛鍊馬競走ニ出ル馬ハ一府縣内ニ限ツテ置
イタ方ガ馬政上ノ立場カラ宜シカラウト云
フ結論ニナツテ居ル譯デアリマス

ノモ、ヤハリ鍛鍊馬ハ皆縣外ニ出スト云フ
コトニナリマスカ

○荷見政府委員 ソレハ鍛鍊馬競走ハ賞品
ヲ懸ケテヤル、賞品ト言ヒマスカ、優等馬
票ヲ發行シテ、ソコデ競技ヲサセルノデ、
非常ナカラ費スコトニナル方法デヤルト工
合ガ惡イノデアリマスガ、然ラザル場合ニ
ハ、他府縣ニモツト運動ヲスルト云フコト
ハ差支ナイト考ヘテ居リマス

○小串委員 非常ニ御苦シイ御答辯ダト思
ヒマスガ、馬術競技ハ、隨分高等馬術ノ如
キハヤハリ相當障害ヲ飛ンダリ何カシテ馬
ニ損傷ヲ與ヘルノデアリマスガ、競技會ダ
ケガ損傷ヲ與ヘルカライカナイト云フヤウ
ナコトハ、私ハ全然承服スルコトガ出來ナ
イ、又信用スルヤウナ御答辯デモナイト思
フ、長官ダツテ仕方ガナイカラサウ言ツテ
居ルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、
是レ以上議論シテモ仕様ガアリマセヌ、何
カ關聯質問ガアレバ——、私ハマダ聴クコ
トガアリマスガ……

○荷見政府委員 私ヨリモ尙ホ専門的ノ立
場ニアリマス資源課長カラ一應申上ゲマス
○佐々木説明員 此ノ馬ヲ主體ト致シマス
ル鍛鍊競技ト云フ意味ニ於キマシテハ、縣
外ニ出マスコトハ、適當デナイト思ツテ居

リマス、鍛鍊競技以外ノ事柄ニ依リマシテ
餘所ヘ出マスルコトハ止メル必要ハ無イト
考ヘテ居リマス

○森田委員 先程資源課長殿ノ御説明ヲ聽
イテ居リマス、ドウモ此ノ鍛鍊競走ト云
フコトノ値打ト云フモノニ對スル軍ノ方
面ノ考ヘ方ガ、ドウモ私等ト觀念ノ相違ガ
アルヤウナ氣持ガスルノデアリマス、成程
ソレハ軍ノ立場カラ見レバ何モ競走サセヨ
ウガ、何シヨウガソナコトハ必要ナイ事
柄デ、馬ノ鍛鍊サヘサセバ宜イト云フ立
場ノヤウニ見エテ、サウシテ何カ此ノ鍛鍊
馬競走ヲ非常ニ輕ク御覽ニナツテ居ルヤウ
ニ思ヒマス、私等ノ方ノ見方ハソレヲ不可
分ノ形ニ見ナイト云フト、綜合的ニ考ヘタ
軍馬資源保護ニハナラナイノダト、斯ウ云
フノガ私等ノ考デアリマス、其ノ根據ハ昨
日モ私ハ何遍モ強調シタノデスガ、要スル
ニ此ノ馬ノ値段ヘ私ハ來ルノデヤナイカト
思フ、ソコデ若干他ノモノハ簡單ナ鍛鍊デ
宜イデセウガ、必ズシモ競走サセナクテモ
宜イデセウ、ソコデ其ノ競走サセルト云フノ
ハ、軍馬保護馬ノ中ノ更ニ選手ガ出テ來ル
コトデアリマス、ソコデ全般的ナ軍ノ求メ
ル鍛鍊ト云フコトカラ見ルト、非常ニ部分
的ナ輕イモノト見レバ見ラレナイコトモナ

イト思フ、併シ私ハ農林省ノ側ノ立場カラ
見ルト、全然是ハ立場ヲ異ニシタ一ツノ見方
ヲ持ツテ居ラナケレバナラス、サウシテ競
馬價值、所謂鍛鍊競走ト云フモノハ相當重
要視スル値打ノアルモノデ、ソレヲ通ジテ
ニアラズンバ、本當ノ最後ノ目的ヲ達セラ
レナイモノダト云フコトヲ考ヘサセラレル、
ソコデ一ツ馬政局長官ノ方デハ、本當ニ農
林省側ノ、即チ馬ノ生産家ノ立場ニ立ツテ
ノ保護ト云フ立場カラ見ルト、相當強イ御
主張ヲナサル軍ノ要求ト、農林省側ノ生産
家本位ノ立場トビツタリ行ツテ、サウシテ
一元化サレタモノデナケレバ、本當ニ軍馬
資源保護法ニナラナイト思フ、ソレニ對ス
ル今ノ鍛鍊競走、所謂地方競馬ヲ廢止ス
ル——略稱競馬デスネ、ソレニ對シテ一體
馬政局長官ハドウ云フ風ナ御考ヲ御持チニ
ナリマスカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ
○荷見政府委員 地方競馬ノ效用、或ハ弊
害ト云フヤウナ點ニ付キマシテハ御覽ニナ
リ方ニ依ツテハ色々ニナルト思フノデアリ
マス、私ハ先般地方競馬ガ馬事振興、或ハ
馬事思想ノ普及ヲ目的トシテ、施行セラレ
ルコトニ依ツテ、馬政ニ貢獻スル所ガ少ク
ナイト云フコトヲ申上ゲテ居ツタノデアリ
マスルガ、私共ハ其ノ一面ノ利益ノミヲ見

テ居ル譯デモゴザイマセヌノデ、一面ニ於
テ從來ノヤウナヤリ方ニ依ル競馬ノ弊害ニ
付キマシテモ相當ナモノガアルト云フ、關
係方面ノ御意見ニ對シテモ、洵ニ同感ナ點
ガアルノデアリマス、ソレデ地方競馬ノ馬
政上ニ及ボス影響ヲ、利害ト弊害ト兩方面
ヲ私共ト致シマシテハ能ク考ヘマシテ、此
ノ際一舉ニ地方競馬ヲ廢止スルト云フヤウ
ナコトハ適當デナイカラ、是ハ法ノ制限ノ
下ニ立派ナ競走ヲ施行セシメテ、其ノ結果
トシテ得ラレルダケノ貢獻ヲ馬政上ニ致サ
セタイ、併シナガラ弊害モアルト云フ意見
モアルノデアリマスカラ、兩者ノ方面ノ意
見モ參酌シマシテ、相當程度ノ馬ソレ自身
ノ爲、或ハ社會風教上ノ爲ト云フヤウナ方
面カラソレヲ制限スル點モ十分ニ制限スル、
ソコデ其ノ中庸ノ方法ヲ執ツテ參リタイト
思ヒマシタノガ私ノ考デゴザイマス、只今
ノ御話ノアリマシタ此ノ競馬ガ馬政上ニ對
スル利益ト云フ點モ十分ゴザイマスガ、又
弊害ト云フ點モ舉ゲ始メレバ相當澤山アル
ト思ヒマス、私ハ中間ノ説ヲ採ツテ只今
御審議ヲ願ツテ居ル程度ノ制度ガ適當ナリ
ト考ヘマシタ譯デアリマス、此ノ點ダケ申
上ゲテ置キマス
○森田委員 言葉尻ヲ捉ヘテ論究シテ居ル

コトモドウカト思フノデスガ、ドウモ只今ノ長官ノ御話ヲ御伺シテ居リマス、何ダカ斯ウ競馬ト云フモノニ對シテ本當ノ熱意ヲ持ツテオ居デニナラナイヤウナ風ニ聞エルノデス、例ヘバ一時ニ之ヲ廢止スルト云フコトハイカスカラト云ツタヤウナ言葉、

是ハ恐ラク御意識ナサラスニ御發シナサレタ御言葉デヤナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ所ニ何カ斯ウ競馬ト云フモノヲ廢シタ方宜イノダト云フヤウナコトガ前提ニナツテ居ツテ、ソレヲ一時的ニ廢止スルト云フト、色々ナ方面ニ支障ガ起ルカラ、

マア此ノ程度デ一ツ何トカシテ置イタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ思ハレルガ、私等ハサウデハナク、ドウシテモ此ノ馬産計畫上是ハ必要ナモノダト云フコトヲ大前提トシテ、サウシテ内務省ナリ司法省ナリカラ、色々風教上ノ問題デ追窮シテ來ルカラ、先ヅ仕方ガナシニコデ妥協シタノダ、斯ウ云フヤウナ御解釋ニナラナイデ、解釋デヤナイ、サウ云フ御態度ニナラナイデ一ツ大イニ馬産家ノ肩ヲ持ツテ貰ヒタイと思フ、餘リ司法省ヤ内務省ノ方ノ御機嫌バカリ取ツテ、オ居デニナルヤウダガ、ドウモ農林省ノ援助ガ足ラナカツタガ爲ニ馬産家が重イ負擔ヲ掛ケラレルヤウナ氣モスルノデア

リマスカラ、ドウカ觀念的ニハ少クトモサウ云フ風ナ御態度デ、相當強イ御主張ヲアタガナサツテ戴クヤウニシテ貰ヒタイ、ソレダケノ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○小串委員 先刻來伺ヒマシタ所ニ依ツテ當局ノ考ヘテ居ラツシヤイマスコトハ、マア鍛鍊競技ト云フコトハ、詰リ輕ク見テ居ラツシヤルヤウニ、私ハ考ヘル、併シナガラ私共ハ先刻モ話シタ通り地方競馬ガ日本ノ馬産ニ貢獻シタコトノ絶大ナルコトヲ確信シテ居ルノデアリマス、今ソレヲ此處ニ議論スル考ハアリマセヌガ、此ノ急激ナル整備ヲ遂ゲル爲ニ、此ノ法ニアル即チ第十二條ノ軍用保護馬鍛鍊中央會ト云フモノヲ法人トシテ作ル、ソコデ此ノ保護馬ニ依ツテ、先刻ノ御答辯デモ一應軍馬ノ整備ヲ遂ゲルト云フノデスガ、茲ニ私ノ大イニ疑問トスルノハ、先ヅ此ノ中央會ノ組織ト云フモノハ、大體是ハ馬匹協會ニ一任シタラ宜カラウト云フ議論モアツテ、ソレモ私ハ適當ト思フノデアリマスガ、兎ニ角今後許可ヲ與ヘラレタル、即チ鍛鍊競技ヲ施行スル所ノ組合ガ、其ノ會員トナツテ、サウシテ此ノ中央會ヲ組織スルト云フコトデアアルコトハ、此ノ法ニ明カデアリマス、サウスル時ニ此ノ財源ト云フモノハ一體ドウ云フ所

ニアルカ、先刻ノ御答辯デハ各競馬會、執行スル組合ニ負擔サセルト云フコトデアリマスガ、其ノ外ニハ政府トシテハ地方競馬ノ整理ハ、今回ノ馬政計畫ノ擴充實施ニ關スル經費ノ中デ、僅ニ地方競馬統制改善ニ要スル經費トシテ、二万五千五百圓ヨリ取ツテ居ナイ、サウスルトドウ云フ方法ニ依ツテ之ヲ整備サレルカガ、先刻ノ御答辯デハマダ私共ハツキリシナイ、第一此ノ中央會ト云フモノハ得體ノ知レナイモノデ、唯各競馬ヲヤルモノヲ會員トシテ組織スル、サウシテ地方競馬ノ指導其ノ他色々ノコトヲヤル、而モ此ノ大イナル整理モ之ニ當ラセルト云フノデアリマスガ、私茲ニ之ヲ想像シテ見ルノニ、此ノ百十何箇所ノ競馬場ト云フモノハ、先刻申上ゲタヤウナ大イナル固定資本ヲ投ジテ、此ノ競馬ヲ開催シテ居リマシテ、是ガ馬事ニ貢獻シテ居ル費用ヲ假ニ數字的ニ申上ゲマスナラバ、昨年ノ百三箇所ノ入場者ハ九十八萬餘デ、此ノ馬券ガ二千八百二十萬圓餘、其ノ中拂戻ヲ致シマスカラ、差引イテ全國ノ地方競馬ノ收入金ハ七百六十八萬圓程デアアル、サウシテ馬ノ賞金トシテ支出シタモノハ百七十八萬圓、馬事施設費トシテ支出シタモノガ百九十一萬圓、一般會計若クハ税金其ノ他ノ經

費ガ百三箇所デ約三百萬圓、此ノ三百萬圓程ノモノガ所謂税金若クハ各畜産組合ヲ存立セシムル所ノ費用デアツタノデアリマス、是ガ今回ノ整理ニ依ツテドウ云フ風ニナリマスカ、御答辯ノ要領ニ依ツテ、先ヅ四十五箇所カ五十箇所ト見マシテモ、之ヲ昨年發表ニナリマシタ地方競馬ノ入場料ノ調べニ依ツテ大體ヲ見マシテモ、五十萬圓以上馬券ヲ賣上ゲタ場所ハ、今マデ八箇所アリマスガ、今度ハ大抵都會附近デアリマスカラ、私ノ想像スル所デハ、先ヅ三箇所カ四箇所ニ減ツテシマフ、三十萬圓以上ノ所ガ十六箇所ゴザイマス、是ハ更ニ減ツテ、先ヅ七箇所位ニナルノデハナイカ、昨年ノ成績デ見ルトサウ云フ風ニ思ハレル、爾餘ノ三十餘箇所ト云フモノハ——假ニ四十何箇所新規ニ出來ル、其ノ後ノ三十何箇所程ノモノハ殆ド其ノ存立ヲスルダケノ費用以上ノモノハナイダラウ、是ハ私ノ二三年間ノ成績デサウ見テ居リマス、現ニ馬匹協會ニ於テ負擔シテ居ル狀態カラ言ツテモ、亦今回ノ戰時特別稅ヲ負擔シテ居ルモノニ付テモ、其ノ程度ノモノデアリハシナイカト思フ、サウスレバ昨年ノ收入、即チ馬事施設費百九十一萬圓、一般會計ノ三百萬圓ヲ以テヤツテ居ツタト云フ

費ガ百三箇所デ約三百萬圓、此ノ三百萬圓程ノモノガ所謂税金若クハ各畜産組合ヲ存立セシムル所ノ費用デアツタノデアリマス、是ガ今回ノ整理ニ依ツテドウ云フ風ニナリマスカ、御答辯ノ要領ニ依ツテ、先ヅ四十五箇所カ五十箇所ト見マシテモ、之ヲ昨年發表ニナリマシタ地方競馬ノ入場料ノ調べニ依ツテ大體ヲ見マシテモ、五十萬圓以上馬券ヲ賣上ゲタ場所ハ、今マデ八箇所アリマスガ、今度ハ大抵都會附近デアリマスカラ、私ノ想像スル所デハ、先ヅ三箇所カ四箇所ニ減ツテシマフ、三十萬圓以上ノ所ガ十六箇所ゴザイマス、是ハ更ニ減ツテ、先ヅ七箇所位ニナルノデハナイカ、昨年ノ成績デ見ルトサウ云フ風ニ思ハレル、爾餘ノ三十餘箇所ト云フモノハ——假ニ四十何箇所新規ニ出來ル、其ノ後ノ三十何箇所程ノモノハ殆ド其ノ存立ヲスルダケノ費用以上ノモノハナイダラウ、是ハ私ノ二三年間ノ成績デサウ見テ居リマス、現ニ馬匹協會ニ於テ負擔シテ居ル狀態カラ言ツテモ、亦今回ノ戰時特別稅ヲ負擔シテ居ルモノニ付テモ、其ノ程度ノモノデアリハシナイカト思フ、サウスレバ昨年ノ收入、即チ馬事施設費百九十一萬圓、一般會計ノ三百萬圓ヲ以テヤツテ居ツタト云フ

全國ノ地方競馬ガ、今回ノ整理ニ依リマシテ此ノ三分ノ一位ニナルモノト考ヘナクテハナラス、是ハ固ヨリ私ノ想像デアリマスカラ、必シモ斯ウデアルト斷言スル譯デハゴザイマセヌガ、其ノ中央團體カラ今申ス通り三百二十萬圓ノ借金ヲ背負ツテ居ルモノノ整理ヲ爲シ、尙ホソレニ關係シタ仕事ヲスル、所謂整理委員ト云フノハドウ云フ組織デ出來ルカ知リマセヌガ、其ノ命令ニ依ルカ、決議ニ依ツテ實施スルト云フコトハ、私ハドウシテモ今ノ推算カラ行ツテ考ヘラレナイ、ダカラドウシテモ是ハ政府ガ何カ一ツノ方法ヲ御執リニナラナケレバ、恐ラクハ是ハ出來ナイノデヤナイカ、或ハ政府ニ其ノ成算ガオアリニナツテモ、ソレヲ發表スルニ都合ガ惡イノデアルカ、何レニ致シマシテモ私ハ最モ困難デアルト思フ、即チ鍛鍊中央會ト云フモノハ政府ガモウ少シ——其ノ組織モ既ニ色々議論モアリマスケレドモ、假ニ斯ウ云フモノヲ作ルトシタナラバ、相當之ニ向ツテ補助ヲ加ヘルトカ、何トカ云フコトニ依ラナケレバ、私共ノ考デハ絕對ニ是ハ出來ナイト思フ、之ニ付テノ御考ヲモウ一應伺ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 御話ノヤウナコトモ一應

御尤モト存ジマス、ソレデ私モ再々繰返シテ申上ゲマスヤウニ、是ダケノ各地方ノ競馬ヲ整理致スコトニナリマスレバ、中々容易ナラザル經費ガ必要ト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、出來ル限りハ此ノ中央會ノ働キニ依ツテ、相互的ニ其ノ整理ガ出來マスレバ一番仕合せニ考ヘルノデアリマスガ、併シナガラソレヲ以テ必ズシモ十分ナリトハ考ヘテ居リマセヌノデ、左様ナ場合ニハ他ノ方法ヲ講ジタイト思フノデアリマス、是ハ内部ニ於キマシテハ略、話合ヒモ致シテ居ルノデアリマスガ、マダ確定致シテ居リマセヌノデ、此ノ席デ申上ゲル譯ニ參ラナイノデアリマス

○小串委員 大體私ノ御尋スル問題ハ終ツタノデアリマスガ、重ネテ申上ゲマス、此ノ鍛鍊競技會ニ關スル出場鍛鍊馬ニ、非常ナ浮動數ガアルニモ拘ラズ、縣内ニ之ヲ制限スル問題、ソレカラ回数、日數ノ問題、先刻來殆ド全部ノ方カラ御議論ニナリマシタ馬券ニ彈力性ヲ持タセル、即チモウ少シ大キイ額ニスル、是ハ一體此ノ間モ大臣デシタカ、均一ニシタ方ガ宜イト云フ御答辯ガアリマシタケレドモ、公認競馬デモ現ニ新潟ナドハ五圓券ヲ今デモヤツテ居ル、私ハヤハリ此ノ馬券ニ對シテハ五圓以內ニシ

ロト云フ三點ハ是非トモ固執シタイ、當局ニ於テモ此ノ點ヲ御考ヘニナツテ戴キタイト思フ、中央會ノ問題ハ全ク私ニ分リマセヌ、併シ當局者ノ方デ若シ此ノ法ガ通ルナラバ、此ノ大ナ經費モ適當ニ梟ガ付クト云フ御確信ガアルモノト思ツテ、是以上追究致シマセヌ、是デ私ハ終リト致シマス

○大石委員長代理 遠山君モ居リマセヌシ、野溝君ハ大臣ニ要求シテ居リマシテ明日ニナサルサウデアリマスカラ、本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後四時散會